

令和5年度

全国学力・学習状況調査

— 結果の概要 —

令和5年9月
石川県教育委員会

目 次

I 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の対象	1
3	調査の内容	1
	(1) 教科に関する調査	
	(2) 質問紙調査	
4	調査の方式	1
5	調査日	1
6	調査を実施した本県公立学校数・児童生徒数	1
	[本書における留意事項]	2

II 調査の結果

1	教科に関する調査の結果	3
	(1) 各教科の状況	4
	《小学校第6学年 国語》	
	《小学校第6学年 算数》	
	《中学校第3学年 国語》	
	《中学校第3学年 数学》	
	《中学校第3学年 英語》	
	(2) 学校の分布状況	24
	(3) 各教育事務所の状況	26
	(4) 平均正答率の全国との差の変動	30
2	質問紙調査の結果	32
	(1) 児童生徒質問紙調査	32
	(2) 学校質問紙調査	39

I 調査の概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

- ・小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年
- ・中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年

3 調査の内容

(1) 教科に関する調査

国語 算数・数学 英語	① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等 ※ 調査問題では、上記①と②を一体的に問う
-------------------	--

(2) 質問紙調査

児童生徒質問紙	学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
学校質問紙	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

4 調査の方式

悉皆調査

5 調査日 令和5年4月18日(火)

6 調査を実施した本県公立学校数・児童生徒数(義務教育学校、特別支援学校を含む)

区分	小学校第6学年	中学校第3学年
学校数	202校	85校
児童生徒数	8,937人	8,727人

[本書における留意事項]

1 語句について

語 句	説 明
平均正答数	児童生徒の正答数の平均
平均正答率	平均正答数を百分率で表示
標準偏差	集団のデータの平均値からの離れ具合（散らばりの度合い）を表す数値

2 数値について

○平均正答率等の数値については、国・県ともに公立学校の結果から算出した数値を記載している（国立・私立を含まない）。

3 到達状況の表記について

○平均正答率の比較については、国や県の平均正答率との差が、±5%以上（以下）は上回る（下回る）、±2%以上（以下）～±5%未満はやや上回る（やや下回る）、±2%未満は同程度と表記した。

○国が公表した過去の調査結果を参考にして、正答率の状況により、児童生徒の到達状況を下表のように表記した。

正 答 率	「到達状況」を示す記号、用語
90%以上の場合	◎：良好である
80%以上～90%未満の場合	○：概ね良好である
70%以上～80%未満の場合	◇：基準に到達している
60%以上～70%未満の場合	▽：十分とはいえない
60%未満の場合	▼：不十分である

4 調査結果の解釈等について

本調査は、幅広く児童生徒の学力や学習状況等を把握することなどを目的として実施しているが、実施教科が特定の教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではないことなどから、本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部分であること、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意する必要がある。

本調査の結果においては、教科ごとの平均正答率等の数値を示しているが、これらと分布の状況を表すグラフの形状など他の情報と合わせて総合的に結果を分析、評価する必要がある。

また、本調査結果の活用については、個々の設問や領域等に着目して学習指導上の課題を把握・分析し、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることも重要である。

5 調査結果の算出方法について

平成29年度から文部科学省は、全国の平均正答率を小数第一位までの小数値、県の平均正答率を整数値で公表している。

本資料における調査結果については、文部科学省から公表された数値を使用している。ただし、Ⅱ1(3)「各教育事務所の状況」及びⅡ1(4)「平均正答率の全国との差の変動」の資料作成に当たっては、文部科学省から公表された全国の平均正答率を小数第一位で四捨五入した整数値とし、本県の整数値の平均正答率と比較する本県独自の算出を行っている。そのため、精緻な数値での状況と異なる場合もある。

Ⅱ 調査の結果

1 教科に関する調査の結果

本県の平均正答率は、これまでの調査と同様に、小中学校の国語、算数・数学、英語ともに全国より高い。

学年	項目	県・国	国語	算数・数学	英語
小学校 第6学年	問数		14	16	/
	平均正答率 (%)	本県	72	67	
		全国	67.2	62.5	
中学校 第3学年	問数		15	15	17
	平均正答率 (%)	本県	73	56	49
		全国	69.8	51.0	45.6

- ※ 平成29年度から文部科学省は、県の平均正答率を整数値で公表している。
- ※ 令和元年度から、従来のA問題(知識)とB問題(活用)という区分を見直した知識・活用を一体的に問う調査問題となる。
- ※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の学校教育への影響等を考慮し、調査を実施していない。
- ※ 文部科学省は、中学校英語について、4技能のうち「話すこと」を除く、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の合計を集計し公表している。

《参考》

[令和4年度の結果]

学年	県・国	国語	算数	理科
小学校 第6学年	本県	70	69	70
	全国	65.6	63.2	63.3

学年	県・国	国語	数学	理科
中学校 第3学年	本県	73	58	55
	全国	69.0	51.4	49.3

[令和3年度の結果]

学年	県・国	国語	算数
小学校 第6学年	本県	71	74
	全国	64.7	70.2

学年	県・国	国語	数学
中学校 第3学年	本県	69	63
	全国	64.6	57.2

[令和元年度の結果]

学年	県・国	国語	算数
小学校 第6学年	本県	72	72
	全国	63.8	66.6

学年	県・国	国語	数学	英語
中学校 第3学年	本県	77	65	58
	全国	72.8	59.8	56.0

(1)各教科の状況

《小学校第6学年 国語》

国語

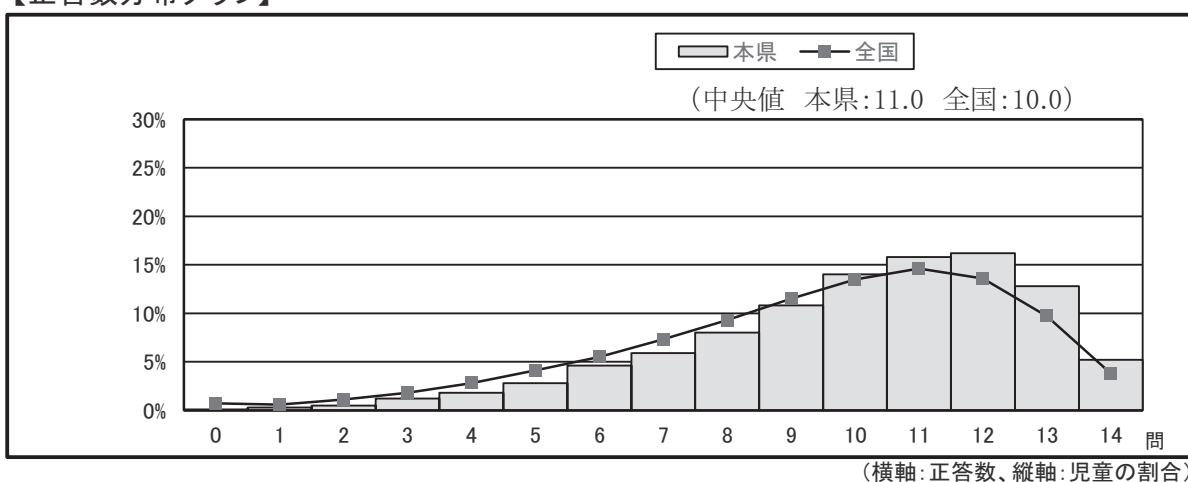
☆ 平均正答率は全国平均をやや上回り、基準に到達している。

☆ 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することや、文章の種類とその特徴について理解することはできている。

☆ 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	10.0 / 14 問	72 %	2.7
全国	9.4 / 14 問	67.2 %	2.9

【正答数分布グラフ】



【正答率の高い問題】

問題番号	問題の概要	本県	全国
1	1三 【川村さんの文章】の下線部イを、送り仮名に気を付けて書き直したもの (2)イ として適切なものを選択する (くらべて)	95.9	93.1
2	2一 【資料1】と【資料2】に書かれている内容として適切なものを選択する	91.9	90.0
3	1四 【川村さんの文章】の特徴の説明として適切なものを選択する	81.7	79.8

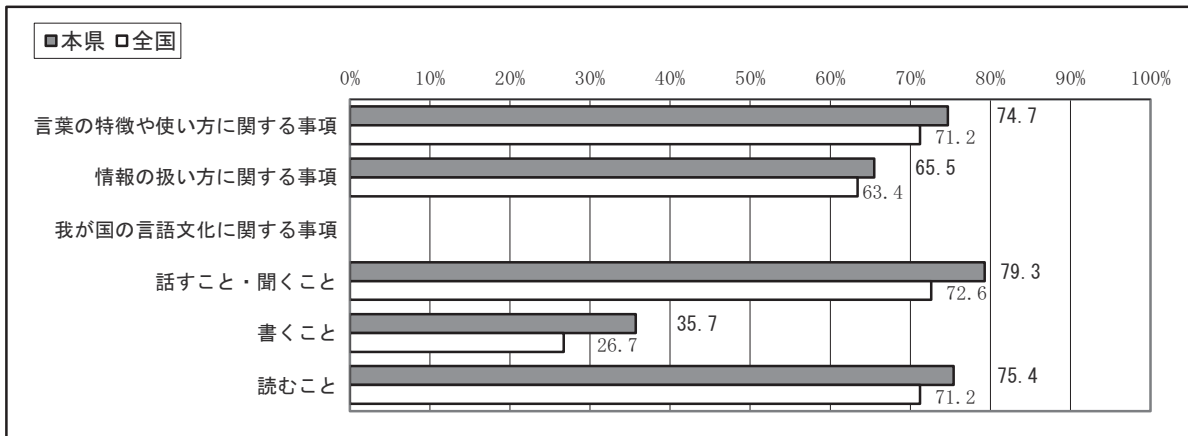
【正答率の低い問題】

問題番号	問題の概要	本県	全国
1	1二 【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く	35.7	26.7
2	1三 (1)ア 【川村さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す (いがい)	58.3	52.8
3	3三 敬語の使い方をまとめた【谷さんのノートの一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	62.7	57.6

【到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▼:十分とはいえない ▼:不十分である

【領域等別の平均正答率】



【知識及び技能】

【言葉の特徴や使い方に関する事項】

- : 文章の種類とその特徴について理解すること〔1四〕
- ▼ : 日常よく使われる敬語を理解すること〔3三〕

【情報の扱い方に関する事項】

- ▼ : 原因と結果など情報と情報との関係について理解すること〔1一〕
- ▼ : 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解すること〔2三〕

【思考力、判断力、表現力等】

【話すこと・聞くこと】

- ◇ : 必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えること〔3一(1)(2)〕
- ◇ : 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること〔3二〕

【書くこと】

- ▼ : 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること〔1二〕

【読むこと】

- ◎ : 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること〔2一〕
- ▼ : 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること〔2四〕

[]内:問題番号

【各問題の正答率等】

国語

■ : 正答率が全国より高い

□ : 正答率が全国より低い

問題番号	問題の概要	学習指導要領の内容						評価の観点			本県		全国	
		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
		言葉の特徴や使い方に 関する事項	情報の扱い方に 関する事項	我が国の言語文化に 関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと							
1一	米作りのときに記録していた【カード②】と【カード③】の下線部の関係として適切なものを選択する		○					○			67.7	0.3	64.7	1.8
1二	【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く					○		○			35.7	5.4	26.7	7.1
1三(1)ア	【川村さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す(いがい)	○						○			58.3	2.1	52.8	4.8
1三(1)ウ	【川村さんの文章】の下線部ウを、漢字を使って書き直す(きかん)	○						○			75.1	3.8	72.6	6.7
1三(2)イ	【川村さんの文章】の下線部イを、送り仮名に気を付けて書き直したものとして適切なものを選択する(くらべて)	○						○			95.9	0.2	93.1	1.0
1四	【川村さんの文章】の特徴の説明として適切なものを選択する	○						○			81.7	1.0	79.8	2.0
2一	【資料1】と【資料2】に書かれている内容として適切なものを選択する							○	○		91.9	0.3	90.0	1.2
2二	【相田さんのメモ】の空欄に当てはまる内容として適切なものを選択する							○	○		70.1	0.4	67.4	1.4

【各問題の正答率等】

国語

■ : 正答率が全国より高い

□ : 正答率が全国より低い

問題番号	問題の概要	学習指導要領の内容						評価の観点			本県		全国	
		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
		言葉の特徴や使い方に 関する事項	情報の扱い方に 関する事項	我が国の言語文化に 関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと							
2三	相田さんが【資料3】の情報をどのように整理しているかについて説明したものとして適切なものを選択する		○					○			63.3	0.4	62.0	1.6
2四	資料を読み、運動と食事の両方について分かったことをもとに、自分ができそうなことをまとめて書く							○	○		64.2	5.8	56.2	8.5
3一(1)	【インタビューの様子】の傍線部ア(～ということだと思いますが、合っていますか。)のように質問をした理由として適切なものを選択する							○	○		79.1	0.9	73.6	3.7
3一(2)	【インタビューの様子】の傍線部イ(～というのは、どのような姿ですか。)のように質問をした理由として適切なものを選択する							○	○		79.7	1.1	74.0	4.1
3二	寺田さんと山本さんが、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことをまとめて書く							○	○		79.1	8.2	70.2	14.3
3三	敬語の使い方をまとめた【谷さんのノートの一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	○							○		62.7	2.9	57.6	9.5

《小学校第6学年 算数》

算数

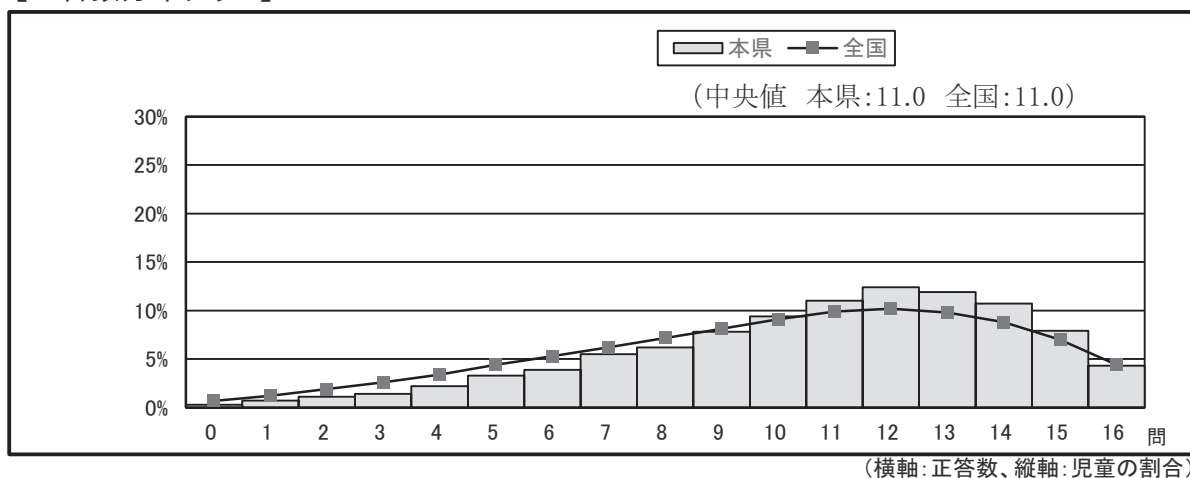
☆ 平均正答率は全国平均をやや上回るが、十分とはいえない。

☆ 伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、示された表の中の適切な数の組を選ぶことはできている。

☆ 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を記述することに課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	10.7 / 16 問	67 %	3.4
全国	10.0 / 16 問	62.5 %	3.8

【正答数分布グラフ】



【正答率の高い問題】

問題番号	問題の概要	本県	全国
1	1(1) 5脚の椅子を重ねたときの高さを求める	95.4	93.5
2	1(2) 椅子の数が2倍になっても、高さは2倍になっていないことについて、表の数を使って書く	91.3	88.5
3	2(2) テープを折ったり切ったりしてできた四角形の名前を書く	90.7	87.2

【正答率の低い問題】

問題番号	問題の概要	本県	全国
1	2(4) テープを直線で切ってできた二つの三角形の面積の大きさについて分かることを選び、選んだわけを書く	17.0	20.8
2	2(3) 切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときのAの角の大きさを書く	27.2	24.9
3	4(1) 示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ	49.0	46.0

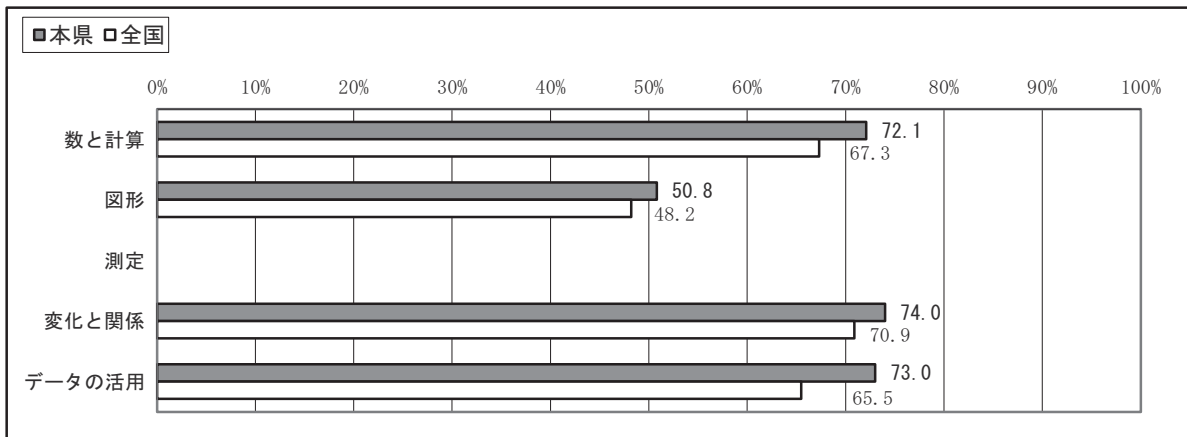
【本県の平均正答率が全国の平均正答率より低い問題】

問題番号	問題の概要	本県	全国	差
1 2(4)	テープを直線で切ってできた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く	17.0	20.8	-3.8

【到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▽:十分とはいえない ▼:不十分である

【領域等別の平均正答率】



【数と計算】

- : 一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすること[1(4)]
- ▼ : (2位数) ÷ (1位数)の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えること[3(4)]

【図形】

- ▼ : 正三角形の意味や性質について理解すること[2(3)]
- ▼ : 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること[2(4)]

【変化と関係】

- ◎ : 伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いること[1(2)]
- ▽ : 伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述すること[1(3)]

【データの活用】

- : 「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ること[4(2)]
- ▽ : 示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述すること[4(3)]

[]内:問題番号

【各問題の正答率等】

算数

■ : 正答率が全国より高い

□ : 正答率が全国より低い

問題番号	問題の概要	学習指導要領の領域					評価の観点			本県		全国	
		数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1(1)	5脚の椅子を重ねたときの高さを求める				○		○		95.4	0.3	93.5	0.8	
1(2)	椅子の数が2倍になっても、高さは2倍になっていないことについて、表の数を使って書く				○		○		91.3	0.5	88.5	1.0	
1(3)	椅子4脚の重さが7kgであることを基に、48脚の重さの求め方と答えを書く				○		○		60.1	3.0	55.5	3.4	
1(4)	全部の椅子の数を求めるために、 50×40 を計算する	○					○		84.1	0.8	80.8	1.2	
2(1)	テープを2本の直線で切ってきた四角形の名前と、その四角形の特徴を選ぶ		○				○		68.1	0.3	59.8	0.7	
2(2)	テープを折ったり切ったりしてできた四角形の名前を書く		○				○		90.7	1.7	87.2	2.9	
2(3)	切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときのAの角の大きさを書く		○				○		27.2	2.4	24.9	3.7	
2(4)	テープを直線で切ってきた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く		○				○		17.0	2.6	20.8	4.0	
3(1)	2種類の辞典を全部並べた長さを求める二つの式について、それぞれどのようなことを表しているのかを選ぶ	○					○		77.2	0.7	70.3	1.4	

【各問題の正答率等】

算数

■ : 正答率が全国より高い

□ : 正答率が全国より低い

問題番号	問題の概要	学習指導要領の領域					評価の観点			本県		全国		
		数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	
3(2)	3種類のファイル23人分を全部並べた長さの求め方と答えを記述し、全部のファイルを棚に入れることができるかどうかを判断する	○							○		60.7	2.8	56.7	4.0
3(3)	$(151 + 49) \times 3$ と $151 \times 3 + 49 \times 3$ を計算したり、分配法則を用いたりして答えを求める	○							○		78.2	1.4	72.4	2.5
3(4)	$66 \div 3$ の筆算の仕方を説明した図を基に、筆算の商の十の位に当たる式を選ぶ	○							○		51.4	2.2	47.6	3.9
4(1)	示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ				○				○		49.0	1.4	46.0	2.4
4(2)	運動カードから、運動した時間の合計が30分以上である日数を求める	○				○			○		80.8	2.8	75.7	4.3
4(3)	二つのグラフから、30分以上の運動をした日数が「1日」と答えた人数に着目して、分かることを書く					○			○		66.8	9.1	56.2	13.8
4(4)	二次元の表から、読み取ったことの根拠となる数の組み合わせを選ぶ					○			○		71.5	3.0	64.6	4.9

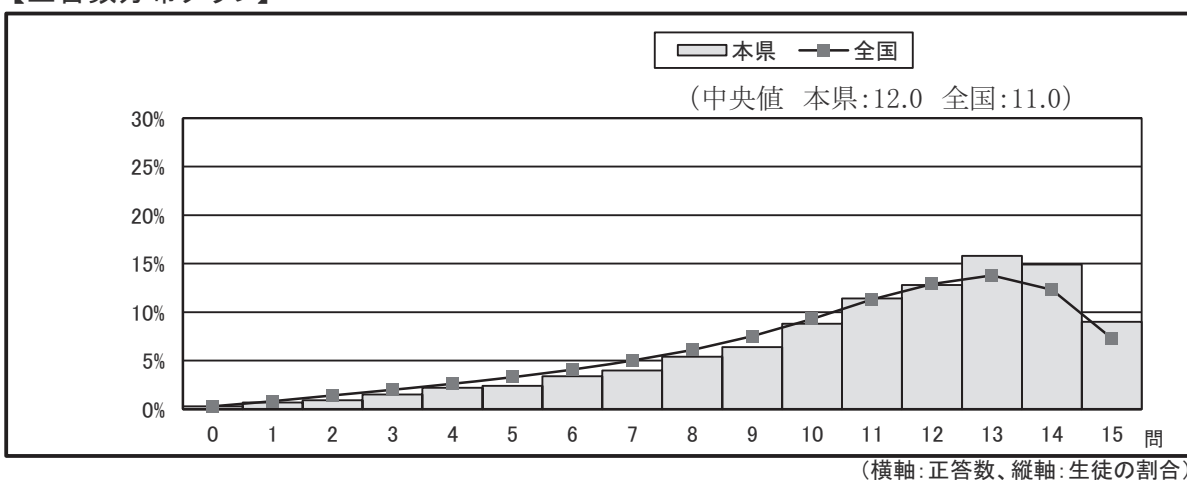
《中学校第3学年 国語》

国語

- ☆ 平均正答率は全国平均をやや上回り、基準に到達している。
- ☆ 目的や場面に応じて質問する内容を検討することや、聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることはできている。
- ☆ 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることに課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	10.9 / 15 問	73 %	3.3
全国	10.5 / 15 問	69.8 %	3.4

【正答数分布グラフ】



【正答率の高い問題】

問題番号	問題の概要	本県	全国
1 2一	「落胆する」の意味として適切なものを選択する	92.1	91.1
2 1一	インタビューの前に準備したメモについて説明したものとして適切なものを選択する	88.0	87.5
3 4一	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(いひける)	86.1	82.5

【正答率の低い問題】

問題番号	問題の概要	本県	全国
1 3二	漢字を書く(おし量って)	41.6	43.9
2 4三	現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く	53.9	50.0
3 3一	レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する	58.7	54.3

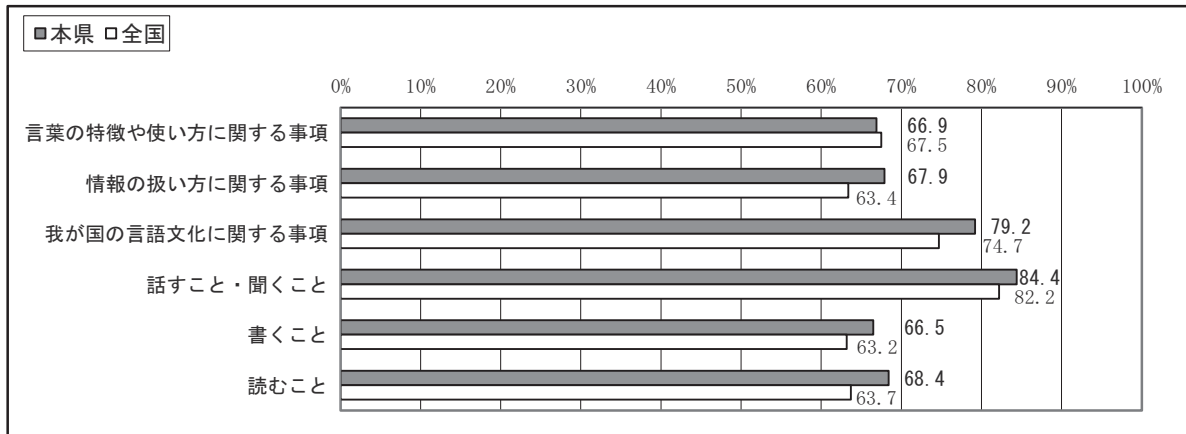
【本県の平均正答率が全国の平均正答率より低い問題】

問題番号	問題の概要	本県	全国	差
1 3二	漢字を書く(おし量って)	41.6	43.9	-2.3

【到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▽:十分とはいえない ▼:不十分である

【領域等別の平均正答率】



【知識及び技能】

【言葉の特徴や使い方に関する事項】

- ◎ : 事象や行為、心情を表す語句について理解すること〔2一〕
- ▼ : 文脈に即して漢字を正しく書くこと〔3二〕

【情報の扱い方に関する事項】

- ▽ : 意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること〔1二〕
- ▽ : 具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること〔3三〕

【我が国の言語文化に関する事項】

- : 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと〔4一〕
- ◇ : 古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えること〔4二〕

【思考力、判断力、表現力等】

【話すこと・聞くこと】

- : 目的や場面に応じて質問する内容を検討すること〔1一〕
- : 聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめること〔1四〕

【書くこと】

- ◇ : 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと〔3四〕
- ▼ : 読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること〔3一〕

【読むこと】

- ◇ : 文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握すること〔2三〕
- ▼ : 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること〔4三〕

[]内:問題番号

【各問題の正答率等】

国語

■ : 正答率が全国より高い
□ : 正答率が全国より低い

問題番号	問題の概要	学習指導要領の内容						評価の観点			本県		全国	
		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
		言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと							
1一	インタビューの前に準備したメモについて説明したものとして適切なものを選択する				○				○		88.0	0.1	87.5	0.1
1二	インターネットの記事を読んで気付いた点として適切なものを選択する		○						○		69.1	0.1	65.1	0.2
1三	相手の話を受けて発した質問について、述べ方の工夫とその意図を説明したものとして適切なものを選択する				○				○		81.0	0.3	76.6	0.2
1四	インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く				○				○		84.3	10.1	82.5	10.8
2一	「落胆する」の意味として適切なものを選択する	○							○		92.1	0.2	91.1	0.2
2二	二つの文章に共通する表現の効果を説明したものとして適切なものを選択する								○	○	67.9	0.4	63.0	0.4
2三	それぞれの文章で述べられている「読書の楽しみ」として適切なものを選択する								○	○	78.5	0.3	74.2	0.3
2四	自分がこれからどのように本を読んでいきたいかについて、読んだ文章を参考にして、知識や経験に触れながら書く			○					○	○	73.2	3.9	67.5	3.9

【各問題の正答率等】

国語

■ : 正答率が全国より高い
□ : 正答率が全国より低い

問題番号	問題の概要	学習指導要領の内容						評価の観点			本県		全国	
		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
		言葉の特徴や使い方に 関する事項	情報の扱い方に 関する事項	我が国の言語文化に 関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと							
3一	レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する						○		○		58.7	0.5	54.3	0.6
3二	漢字を書く（おし量って）	○							○		41.6	8.1	43.9	10.7
3三	『判じ絵』とは何かと見出しを付けた部分について、内容のまとまりで文章が二つに分かれる箇所を選択し、後半のまとまりに付ける見出しを書く		○						○		66.6	1.8	61.8	2.1
3四	『判じ絵』の解説の面白さ」と見出しを付けた部分に具体例として示す「判じ絵」を選択し、その解説の仕方を書く						○		○		74.3	10.4	72.1	10.2
4一	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（いひける）			○					○		86.1	2.8	82.5	3.6
4二	原文の中の語句に対応する言葉を現代語で書かれた文章から抜き出す（いと）			○					○		78.3	4.3	74.1	4.8
4三	現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く								○	○	53.9	20.7	50.0	20.7

《中学校第3学年 数学》

数学

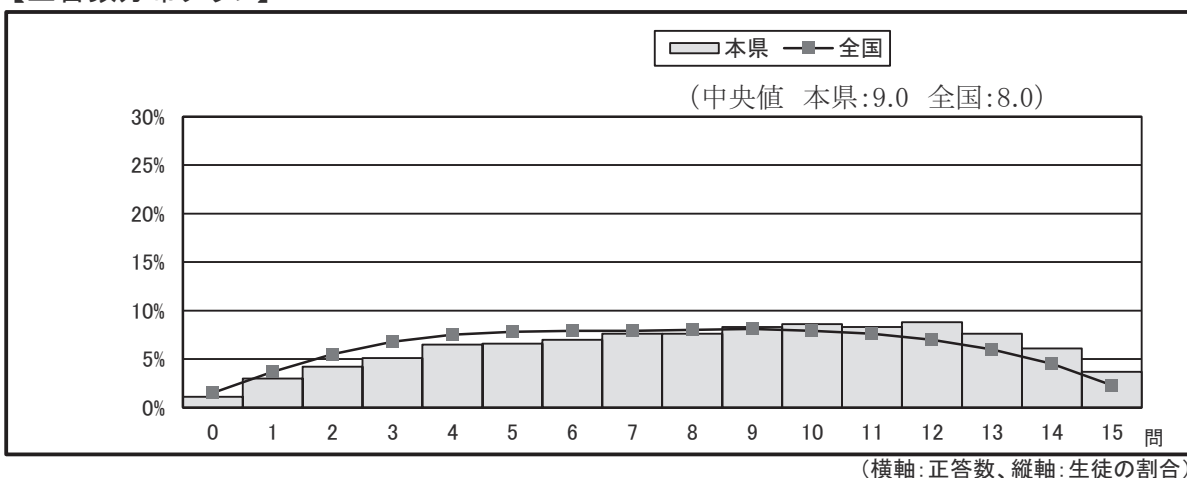
☆ 平均正答率は全国平均を上回るが、不十分である。

☆ 問題場面における考察の対象を明確に捉えることや、数と整式の乗法の計算をすることはできている。

☆ ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することや、複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	8.4 / 15 問	56 %	3.9
全国	7.6 / 15 問	51.0 %	3.9

【正答数分布グラフ】



【正答率の高い問題】

問題番号	問題の概要	本県	全国
1	6(1) はじめの数が11のとき、はじめの数にかける数が2、たす数が3のときの計算結果を求める	90.5	88.9
2	2 $12\left(\frac{x}{4} + \frac{y}{6}\right)$ を計算する	84.1	80.5
3	7(1) 1961年～1975年の四分位範囲を求める	71.3	65.7

【正答率の低い問題】

問題番号	問題の概要	本県	全国
1	3 空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選ぶ	33.1	30.4
2	9(1) 2つの直線BCと直線AEが平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する	36.7	32.1
3	7(2) 「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に着目して説明する	40.9	33.6

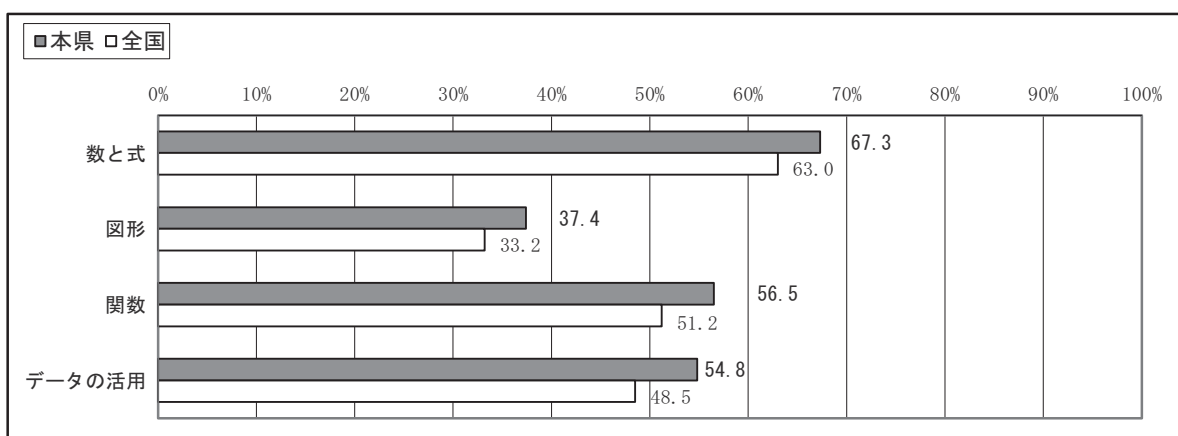
【本県の平均正答率が全国平均正答率より低い問題】

問題番号	問題の概要	本県	全国	差	
1	1	-5、0、3、4、7、9の中から自然数を全て選ぶ	46.0	46.1	-0.1

【到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▽:十分とはいえない ▼:不十分である

【領域等別の平均正答率】



【数と式】

- ◎ : 問題場面における考察の対象を明確に捉えること[6(1)]
- : 数と整式の乗法の計算をすること[2]

【図形】

- ▼ : 空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解すること[3]
- ▼ : ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明すること[9(1)]

【関数】

- ▽ : 事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈すること[8(2)]
- ▽ : 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ること[8(1)]

【データの活用】

- ◇ : 四分位範囲の意味を理解すること[7(1)]
- ▼ : 複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること[7(2)]

[]内:問題番号

【各問題の正答率等】

数学

■ : 正答率が全国より高い

□ : 正答率が全国より低い

問題番号	問題の概要	学習指導要領の領域				評価の観点			本県		全国	
		数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1	-5、0、3、4、7、9の中から自然数を全て選ぶ	○				○			46.0	0.1	46.1	0.1
2	$12\left(\frac{x}{4} + \frac{y}{6}\right)$ を計算する	○				○			84.1	3.1	80.5	4.0
3	空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選ぶ		○			○			33.1	1.0	30.4	0.8
4	yがxに反比例し、比例定数が3のとき、xの値とそれに対応するyの値について、正しい記述を選ぶ			○		○			45.7	0.4	42.8	0.5
5	女子50m自由形の記録の、最小の階級から29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数を求める				○	○			52.1	7.3	46.1	11.0
6(1)	はじめの数が11のとき、はじめの数にかける数が2、たす数が3のときの計算結果を求める	○				○			90.5	2.0	88.9	2.4
6(2)	はじめの数にかける数が2、たす数が6ならば、計算結果はいつでも3の倍数になることの説明を完成する	○					○		67.4	9.8	58.8	10.6
6(3)	はじめの数にかける数がいくつ、たす数がいくつであれば、計算結果はいつでも4の倍数になるかを説明する	○					○		48.5	21.1	40.9	24.7
7(1)	1961年～1975年の四分位範囲を求める				○	○			71.3	4.5	65.7	5.6
7(2)	「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に着目して説明する				○	○			40.9	20.6	33.6	22.8

【各問題の正答率等】

数学

■ : 正答率が全国より高い

□ : 正答率が全国より低い

問題番号	問題の概要	学習指導要領の領域				評価の観点			本県		全国	
		数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
8(1)	晴天大学が駅前を通過した時間と新緑大学が駅前を通過した時間の差について、グラフのどの2点のx座標の差として表れるかを書く			○		○		■	63.2	7.5	57.5	8.6
8(2)	二人の選手のグラフが直線で表されていることの前提となっている事柄を選ぶ			○		○		■	66.6	0.8	61.7	1.1
8(3)	グラフや式を用いて、新緑大学の選手が晴天大学の選手に追いつくのが、6区のスタート地点からおよそ何mの地点になるかを求める方法を説明する			○		○		■	50.4	11.7	42.8	13.2
9(1)	2つの直線BCと直線AEが平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する		○					■	36.7	23.6	32.1	24.7
9(2)	二等辺三角形でない2つの合同な三角形のときに平行線がかけないことについて、二等辺三角形のときの証明の中から成り立たなくなる式を書く		○			○		■	42.5	12.3	37.0	14.2

《中学校第3学年 英語》

英語

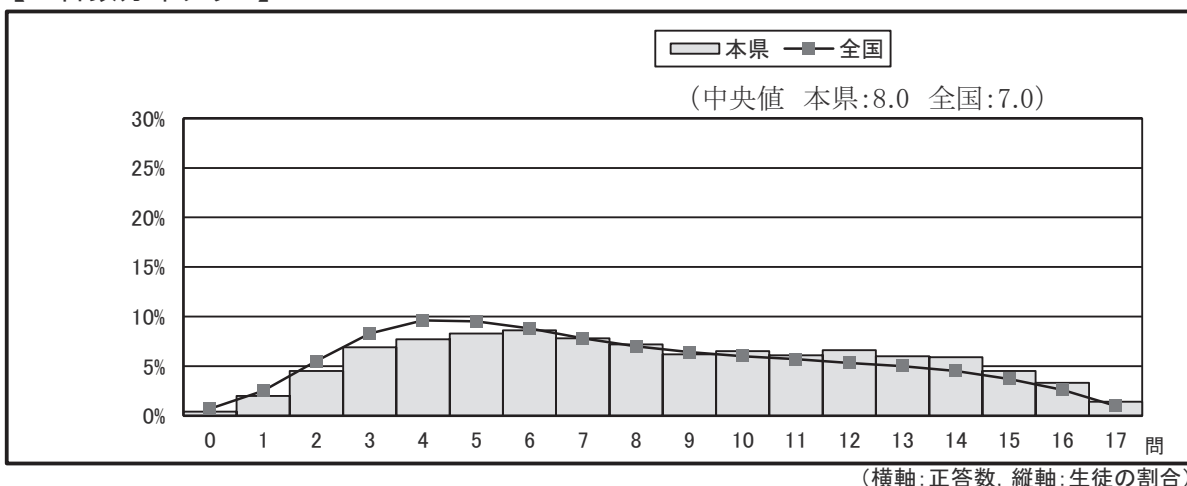
☆ 平均正答率は全国平均をやや上回るが、不十分である。

☆ ある情報に関して話し手の交換がなく話されれば、情報を正確に聞き取ることはできている。

☆ 社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことに課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	8.4 / 17 問	49 %	4.2
全国	7.7 / 17 問	45.6 %	4.2

【正答数分布グラフ】



【正答率の高い問題】

問題番号	問題の概要	本県	全国
1 1(1)	ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	81.5	79.0
2 5(2)	事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する	69.5	64.5
3 1(2)	道案内の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	68.0	64.4

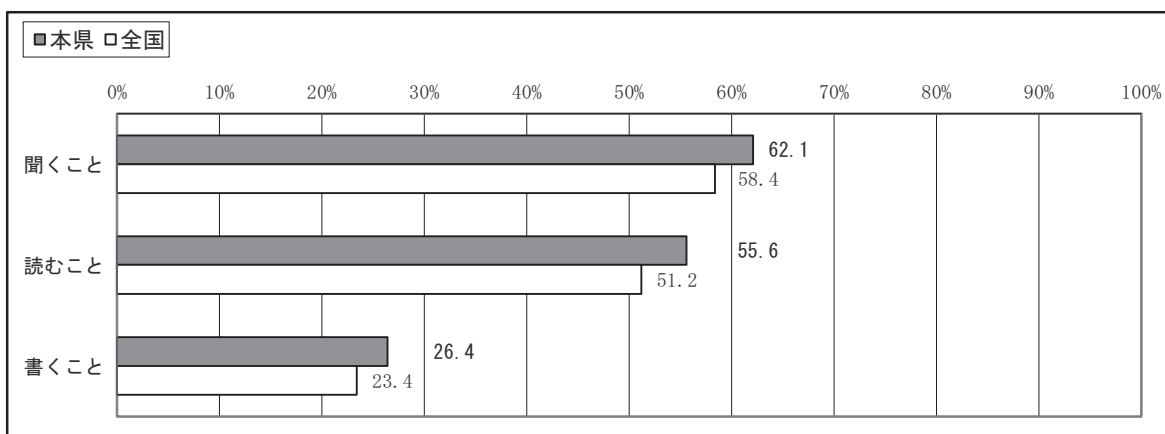
【正答率の低い問題】

問題番号	問題の概要	本県	全国
1 10	学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く	8.8	7.4
2 8(2)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く	21.8	19.5
3 9(1) ②	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	23.3	20.9

【到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▽:十分とはいえない ▼:不十分である

【領域等別の平均正答率】



【聞くこと】

- : 情報を正確に聞き取ること〔1(1)〕
- ▼ : 日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ること〔3〕

【読むこと】

- ▽ : 「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むこと〔5(2)〕
- ▼ : 日常的な話題について、短い文章の概要を捉えること〔7(2)〕

【書くこと】

- ▼ : 社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くこと〔8(2)〕
- ▼ : 日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くこと〔10〕

[]内:問題番号

【各問題の正答率等】

英語

■ : 正答率が全国より高い
□ : 正答率が全国より低い

問題番号	問題の概要	学習指導要領の領域					評価の観点			本県		全国	
		聞くこと	読むこと	話すこと「やり取り」	話すこと「発表」	書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1(1)	ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	○					○			81.5	0.1	79.0	0.1
1(2)	道案内の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	○					○			68.0	0.1	64.4	0.2
1(3)	買物の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	○					○			55.4	0.1	49.8	0.2
2	忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、最も適切な番号を選択する	○						○		63.2	0.1	61.1	0.2
3	バーベキューパーティーについての説明を聞き、質問の答えとして最も適切なものを選択する	○						○		44.1	0.2	41.2	0.2
4	水問題についての話を聞き、話し手の最も伝えたい内容を選択する	○						○		60.7	0.3	54.8	0.4
5(1)	ある状況を描写する英文を読み、その内容を最も適切に表しているグラフを選択する		○					○		62.4	0.3	56.0	0.3
5(2)	事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する		○					○		69.5	0.3	64.5	0.3
6	友達からのメールを読み、相手が示した条件に合うイベントとして最も適切なものを選択する		○					○		41.7	0.2	35.9	0.3

【各問題の正答率等】

英語

■ : 正答率が全国より高い
□ : 正答率が全国より低い

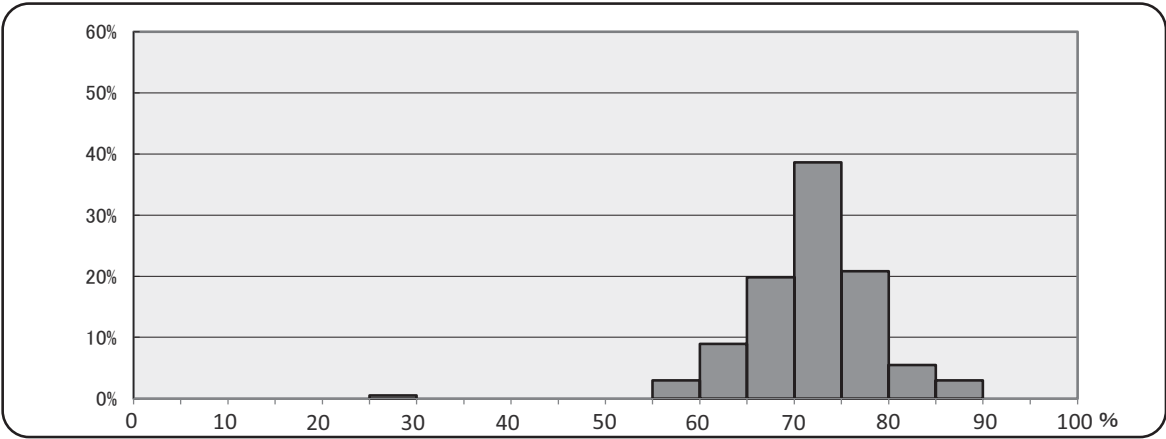
問題番号	問題の概要	学習指導要領の領域					評価の観点			本県		全国	
		聞くこと	読むこと	話すこと「やり取り」	話すこと「発表」	書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
7(1)	図書館について書かれた英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する		○				○			61.4	0.2	59.8	0.3
7(2)	図書館について書かれた英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する		○					○		36.3	0.6	34.7	0.7
8(1)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の最も伝えたい内容を選択する		○					○		62.5	0.6	56.1	0.8
8(2)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く					○		○		21.8	24.6	19.5	29.3
9(1)①	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる					○	○			43.3	5.6	40.4	6.6
9(1)②	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる					○	○			23.3	9.4	20.9	10.9
9(2)	メールの英文を依頼する表現に書き換える					○	○			35.0	21.5	29.0	24.5
10	学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く					○		○		8.8	18.7	7.4	21.4

(2) 学校の分布状況

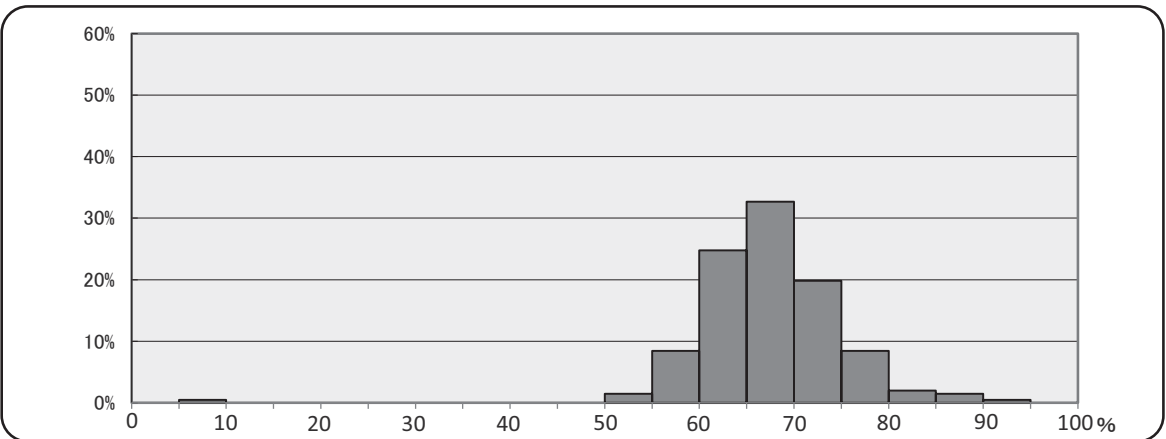
《公立小学校第6学年》

学校数	202 校
-----	-------

国語



算数

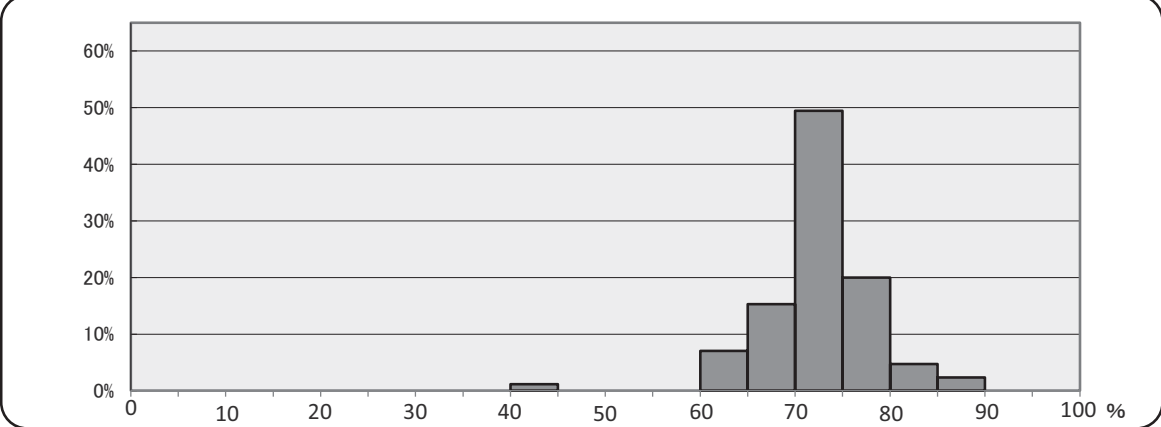


(横軸:学校の平均正答率 縦軸:学校数の割合)

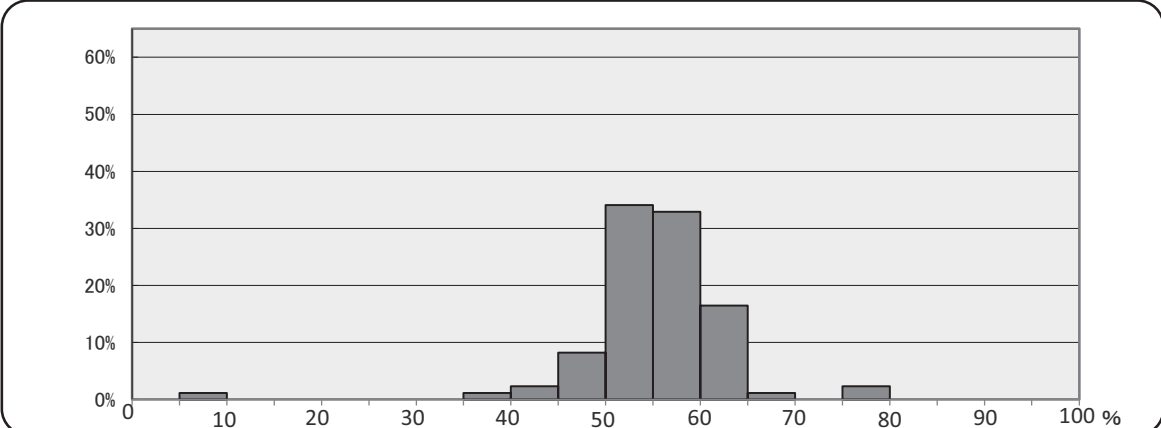
《公立中学校第3学年》

学校数	85 校
-----	------

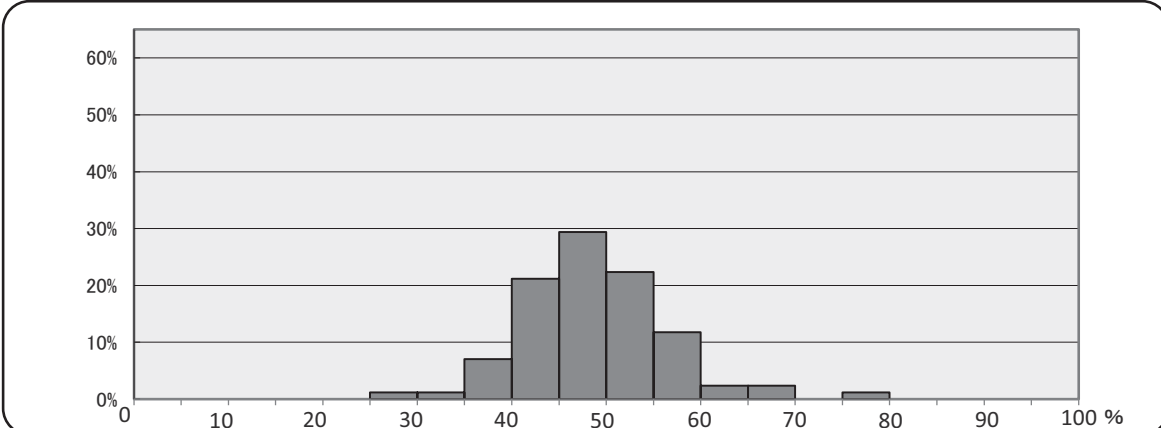
国語



数学



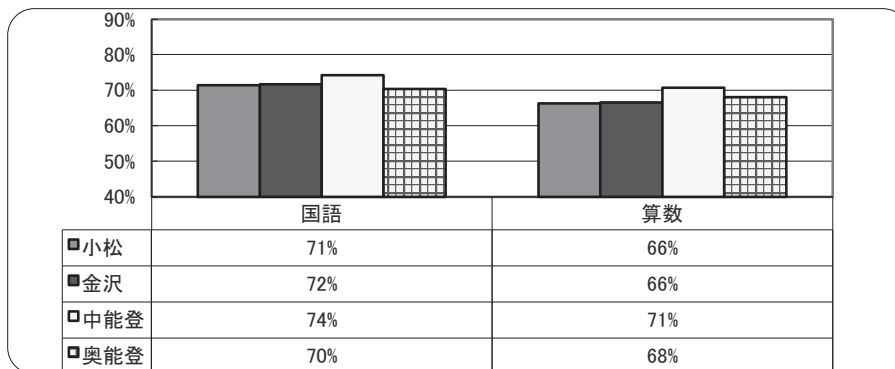
英語



(横軸:学校の平均正答率 縦軸:学校数の割合)

(3) 各教育事務所の状況

【小学校】



※平成29年度から文部科学省は、県の平均正答率を整数値で公表している。

本資料は、各教育事務所管内の状況について、国、県、及び市町教育委員会、それぞれの平均正答率を整数値として示したものであり、そのため精緻な数値での状況と異なる場合もある。

【小松教育事務所管内】

加賀市	国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。
小松市	国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。
能美市	国語は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。
川北町	国語は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数は、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率をやや下回る。

【金沢教育事務所管内】

白山市	国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。 算数は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。
野々市市	国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。
金沢市	国語は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。
津幡町	国語は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。
内灘町	国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。
かほく市	国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。

【中能登教育事務所管内】

宝達志水町 国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。

算数は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。

志賀町 国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。

算数は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。

羽咋市 国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。

算数は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。

中能登町 国語は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。

算数は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。

七尾市 国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。

算数は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。

【奥能登教育事務所管内】

能登町 国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。

算数は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。

穴水町 国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。

算数は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。

輪島市 国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。

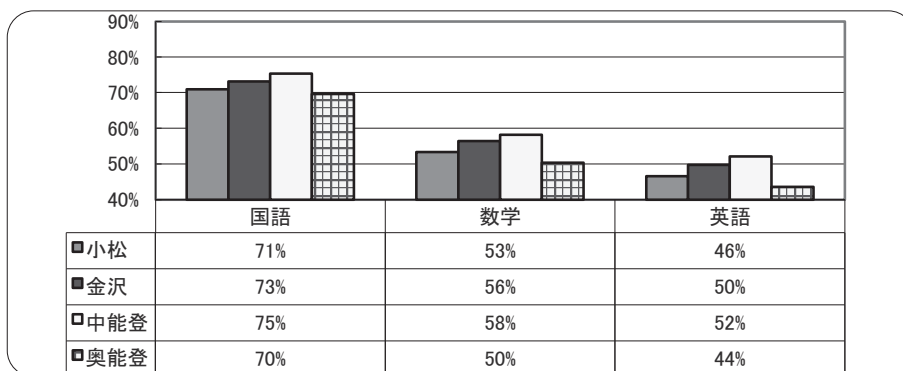
算数は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。

珠洲市 国語は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。

算数は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。

※ 表記の仕方: 国や県の平均正答率との差が、 $\pm 5\%$ 以上(以下)は上回る(下回る)、 $\pm 2\%$ 以上(以下)～ $\pm 5\%$ 未満はやや上回る(やや下回る)、 $\pm 2\%$ 未満は同程度。

〔中学校〕



※平成29年度から文部科学省は、県の平均正答率を整数値で公表している。

本資料は、各教育事務所管内の状況について、国、県、及び市町教育委員会、それぞれの平均正答率を整数値として示したものであり、そのため精緻な数値での状況と異なる場合もある。

【小松教育事務所管内】

加賀市	国語は、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率をやや下回る。 数学は、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率を下回る。 英語は、国の平均正答率をやや下回り、県の平均正答率を下回る。
小松市	国語は、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率をやや下回る。 数学は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。 英語は、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率をやや下回る。
能美市	国語は、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率をやや下回る。 数学は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。 英語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。
川北町	国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 数学は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 英語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。

【金沢教育事務所管内】

白山市	国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。 数学は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。 英語は、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率をやや下回る。
野々市市	国語は、国の平均正答率をやや下回り、県の平均正答率を下回る。 数学は、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率を下回る。 英語は、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率をやや下回る。
金沢市	国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。 数学は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 英語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。
津幡町	国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。 数学は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 英語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。
内灘町	国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。 数学は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 英語は、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率をやや下回る。
かほく市	国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 数学は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 英語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。

【中能登教育事務所管内】

宝達志水町	国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 数学は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 英語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。
志賀町	国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。 数学は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。 英語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。
羽咋市	国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。 数学は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。 英語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。
中能登町	国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 数学は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 英語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。
七尾市	国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。 数学は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。 英語は、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率をやや下回る。

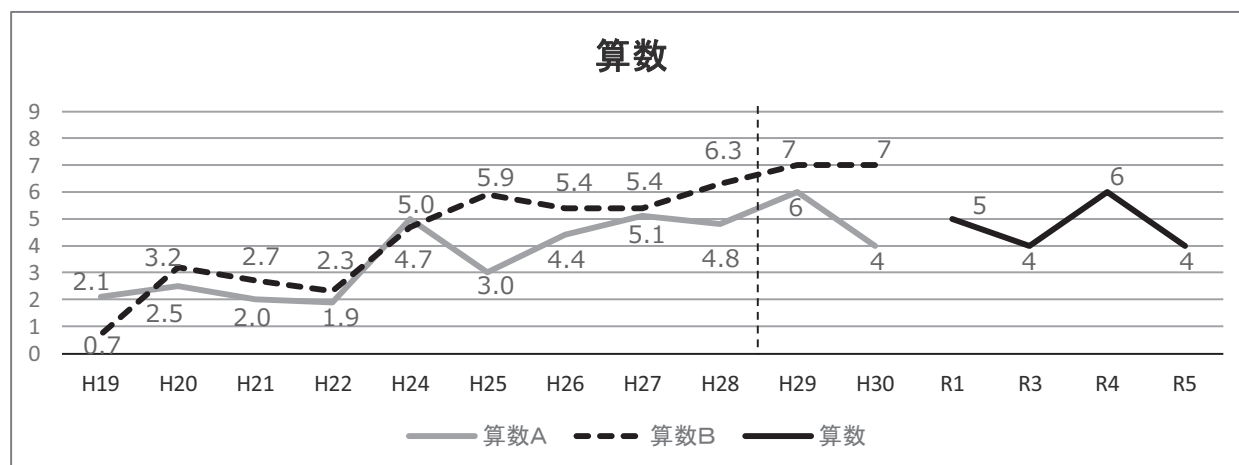
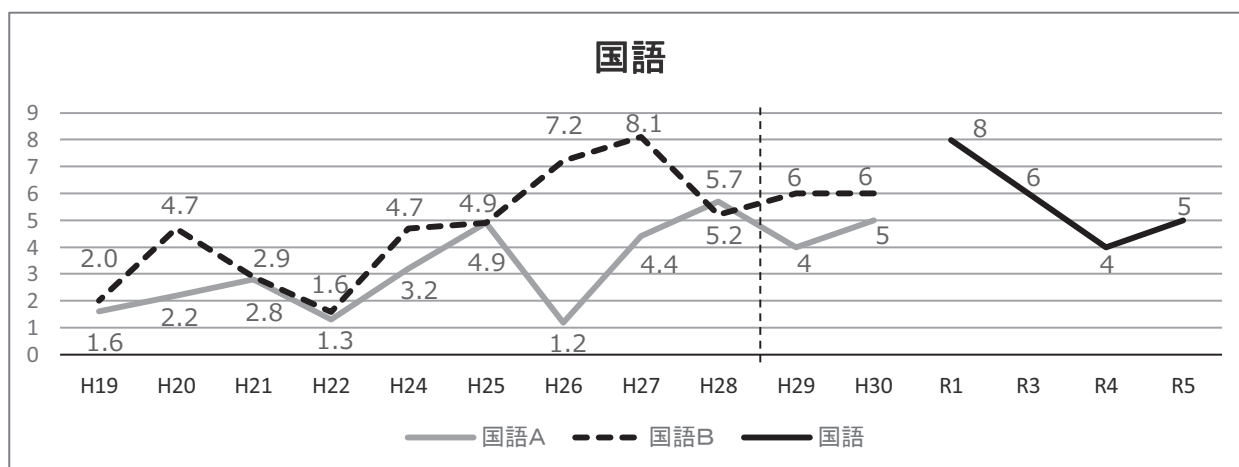
【奥能登教育事務所管内】

能登町	国語は、国の平均正答率をやや下回り、県の平均正答率を下回る。 数学は、国の平均正答率をやや下回り、県の平均正答率を下回る。 英語は、国の平均正答率を下回り、県の平均正答率を下回る。
穴水町	国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。 数学は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 英語は、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率をやや下回る。
輪島市	国語は、国の平均正答率をやや下回り、県の平均正答率を下回る。 数学は、国の平均正答率をやや下回り、県の平均正答率を下回る。 英語は、国の平均正答率をやや下回り、県の平均正答率を下回る。
珠洲市	国語は、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率をやや下回る。 数学は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。 英語は、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率をやや下回る。

※ 表記の仕方：国や県の平均正答率との差が、±5%以上(以下)は上回る(下回る)、
±2%以上(以下)～±5%未満はやや上回る(やや下回る)、±2%未満は同程度。

(4) 平均正答率の全国との差の変動(国語、算数・数学、英語)

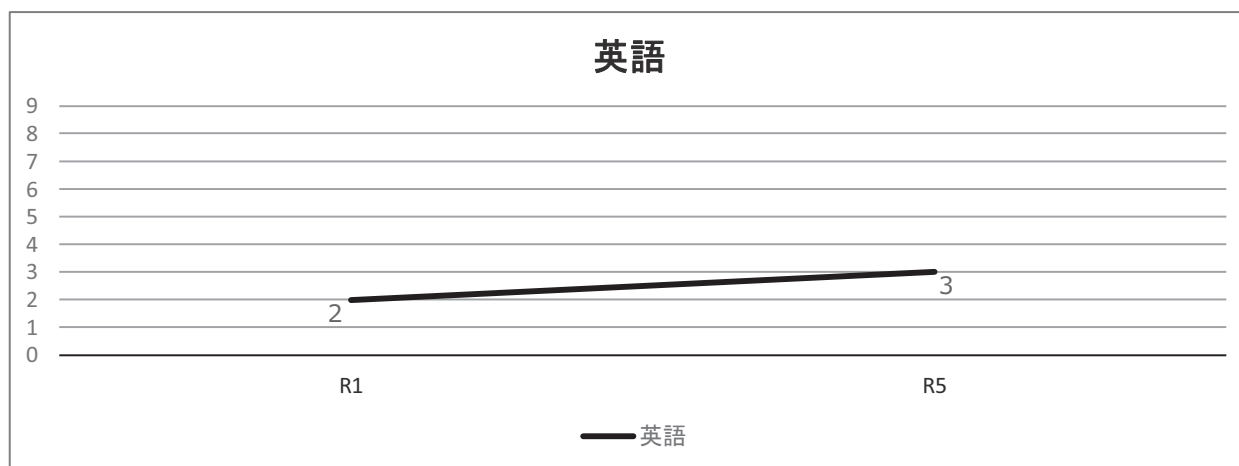
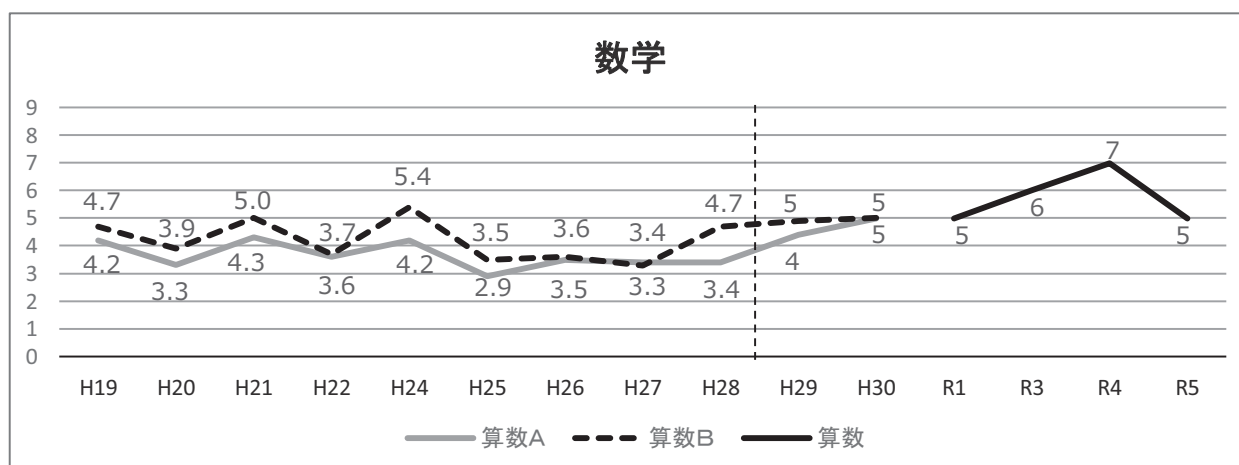
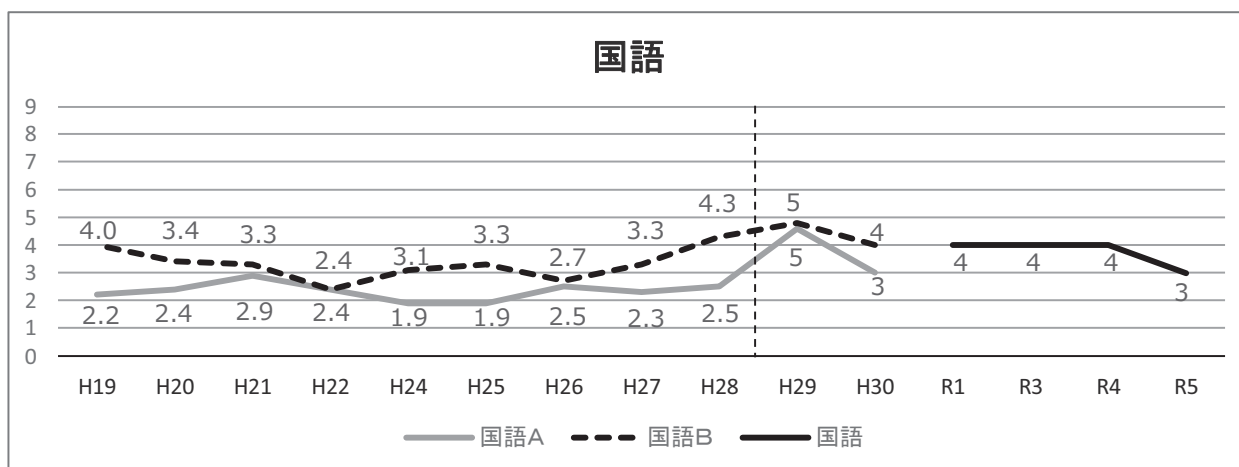
小学校



(横軸:年度 縦軸:ポイント)

- ※ 平成29年度より、文部科学省は、県の平均正答率を整数値で公表している。そのため、国と県のそれぞれの平均正答率を整数値として算出し、その差を示したものである。
- ※ 令和元年度より、従来のA問題(知識)とB問題(活用)という区分を見直した知識・活用を一体的に問う調査問題となる。
- ※ 悉皆調査(H19~H21、H26~)、抽出調査(H22、H24)、文部科学省による調査は中止(H23、R2)

中学校



(横軸:年度 縦軸:ポイント)

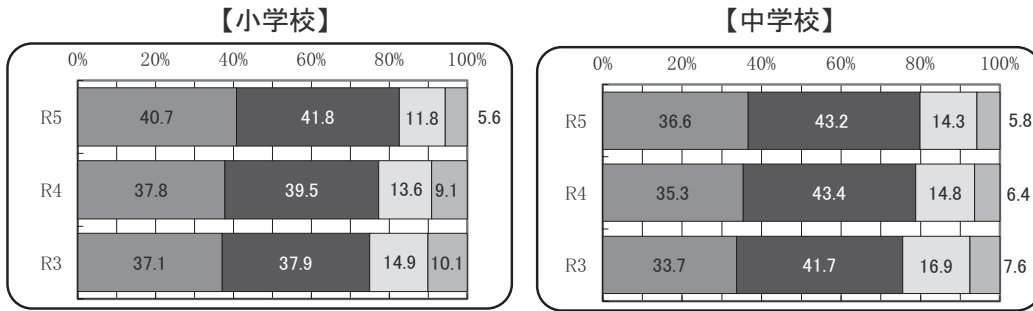
- ※ 平成29年度より、文部科学省は、県の平均正答率を整数値で公表している。そのため、国と県のそれぞれの平均正答率を整数値として算出し、その差を示したものである。
- ※ 令和元年度より、従来のA問題(知識)とB問題(活用)という区分を見直した知識・活用を一体的に問う調査問題となる。
- ※ 悉皆調査(H19～H21、H26～)、抽出調査(H22、H24)、文部科学省による調査は中止(H23、R2)
- ※ 文部科学省は、中学校英語について、4技能のうち「話すこと」を除く、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の合計を集計し公表している。

2 質問紙調査の結果

(1) 児童生徒質問紙調査

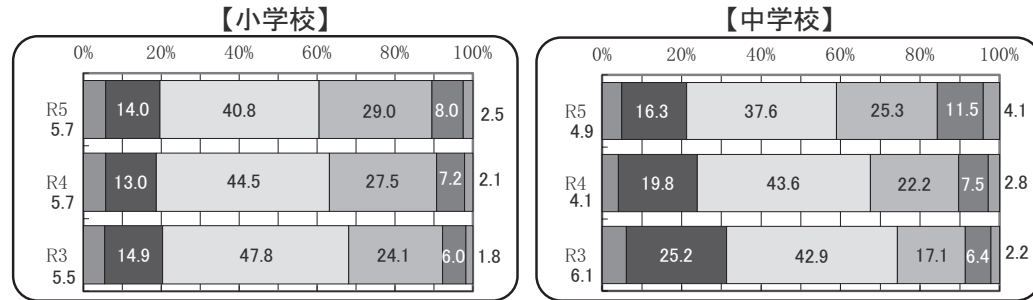
◇ 自分には、よいところがあると思いますか。

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



◇ 学校の授業時間以外に、普段(月から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

■ 3時間以上 ■ 2時間以上、3時間より少ない ■ 1時間以上、2時間より少ない ■ 30分以上、1時間より少ない ■ 30分より少ない ■ 全くしない

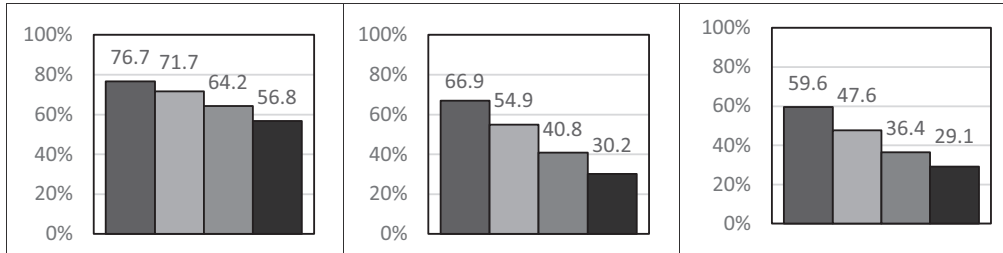


◇ 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

小6 国語 正答率

中3 数学 正答率

中3 英語 正答率



■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

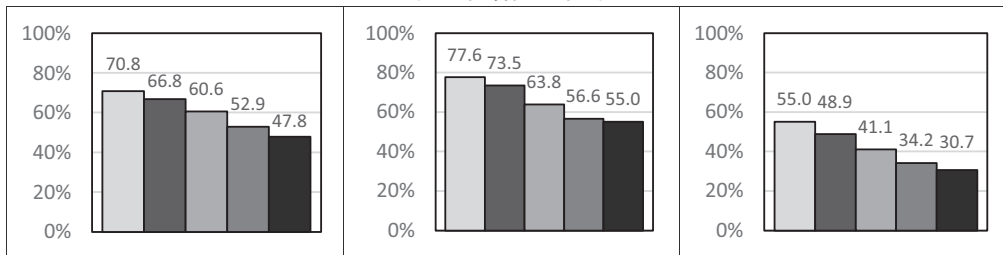
※児童生徒質問紙調査において、各教科区分とのクロス集計したグラフから、小は国語、中は数学と英語のグラフを抜粋

◇ 学級の友達[生徒]との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。

小6 算数 正答率

中3 国語 正答率

中3 英語 正答率



■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 学級の友達[生徒]との間で話し合う活動を行っていない

※児童生徒質問紙調査において、各教科区分とのクロス集計したグラフから、小は算数、中は国語と英語のグラフを抜粋

<表記について>

△:全国より2ポイント以上高い ↑:前年度(前回)より2ポイント以上高い

▼:全国より2ポイント以上低い ※:未実施

① 基本的な生活習慣等

項目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
朝食を毎日食べている	R5	94.9	93.9		93.6	91.2	△
	R4	95.7	94.4		94.8	91.9	△
	R3	96.2	94.9		96.0	92.8	△
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	R5	83.4	81.0	△	81.8	78.0	△
	R4	83.2	81.5		84.5	79.9	△
	R3	83.7	81.2	△	84.2	79.8	△
毎日、同じくらいの時刻に起きている	R5	91.6	90.5		93.9	91.3	△
	R4	91.1	90.4		94.7	92.2	△
	R3	91.4	90.4		94.5	92.7	

② 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等

項目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
自分には、よいところがあると思う	R5	↑ 82.5	↑ 83.5		79.8	80.0	
	R4	↑ 77.3	↑ 79.3	▼	↑ 78.7	↑ 78.5	
	R3	75.0	76.9		75.4	76.2	
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う	R5	↑ 90.0	↑ 89.8		85.7	87.3	
	R4	87.1	87.1		85.9	86.6	
	R3	※	※		※	※	
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う	R5	94.7	93.0		↑ 89.3	↑ 88.9	
	R1	↑ 93.7	↑ 91.7	△	↑ 85.5	↑ 84.6	
	H29	87.6	85.1	△	77.2	75.5	
将来の夢や目標を持っている	R5	79.1	81.5	▼	65.8	66.3	
	R4	77.2	79.8	▼	67.1	67.3	
	R3	78.4	80.3		68.3	68.6	
人が困っているときは、進んで助けている	R5	↑ 91.6	↑ 91.6		89.1	88.1	
	R4	87.9	88.9		89.7	88.4	
	R3	88.8	88.7		89.7	88.5	
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	R5	97.3	96.9		95.7	95.5	
	R4	97.2	96.8		97.4	96.4	
	R3	97.1	96.8		96.6	95.9	
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる	R5	67.9	68.5		67.7	66.4	
	R4	67.5	68.1		67.6	66.6	
	※	※	※		※	※	

項 目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
人の役に立つ人間になりたいと思う	R5	96.4	95.9		94.7	94.6	
	R4	95.6	95.1		96.1	95.0	
	R3	96.0	95.5		95.9	95.0	
学校に行くのは楽しいと思う	R5	84.6	85.3		81.6	81.8	
	R4	83.3	↑ 85.4	▼	82.9	82.9	
	R3	83.4	83.4		82.7	81.1	
自分と違う意見について考えるのは楽しい	R5	↑ 76.5	↑ 76.5		78.5	77.6	
	R4	72.8	↑ 73.5		78.9	↑ 76.9	△
	R3	71.7	70.1		78.5	74.7	△
友達関係に満足している	R5	90.9	90.3		90.0	88.7	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
普段の生活の中で、幸せな気持ちになる	R5	91.2	91.0		88.4	86.8	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	

③ 学習習慣、学習環境等

項 目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
家で自分で計画を立てて勉強をしている(学校の授業の予習や復習を含む)	R5	74.3	70.7	△	58.9	55.0	△
	R4	75.4	71.1	△	63.7	58.5	△
	R3	78.5	74.0	△	66.2	63.5	△
学校の授業時間以外に、普段(月から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしているか(1時間以上)	R5	60.5	57.1	△	58.8	65.8	▼
	R4	63.2	59.4	△	67.5	69.5	▼
	R3	68.2	62.5	△	74.2	75.9	
学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしているか(2時間以上)	R5	21.7	24.7	▼	40.4	40.0	
	R4	24.1	26.2	▼	49.0	44.9	△
	R3	28.2	29.7		56.7	53.5	△
学校の授業時間以外に、普段(月から金曜日)、1日当たりどれくらい読書をしているか(30分以上)	R5	35.1	37.3	▼	25.8	28.4	▼
	R4	34.4	36.4	▼	26.3	27.3	
	R3	35.9	37.4		27.3	28.9	
本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行くか(週1回以上)	R5	21.2	13.4	△	10.9	7.0	△
	R1	↑ 32.6	17.2	△	14.8	8.3	△
	H29	30.2	15.6	△	13.8	8.1	△
新聞を読んでいるか(週1回以上)	R5	14.6	12.6	△	10.2	8.1	△
	R4	16.0	13.8	△	12.1	9.4	△
	R3	17.2	14.8	△	13.1	10.4	△
読書は好きだ	R5	75.2	71.8	△	66.2	66.0	
	R4	75.5	73.1	△	↑ 71.5	68.2	△
	R1	79.1	75.0	△	69.4	68.0	

④ 地域や社会に関わる活動の状況等

項 目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
今住んでいる地域の行事に参加している	R5	↑ 75.3	↑ 57.8	△	49.1	38.0	△
	R4	69.3	52.7	△	50.9	40.0	△
	R3	73.3	58.1	△	54.8	43.7	△
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	R5	79.6	76.8	△	68.2	63.9	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思う	R5	↑ 71.1	↑ 72.5		↑ 65.6	↑ 66.8	
	R1	67.8	68.6		62.9	62.4	
	H29	70.7	70.4		64.0	64.3	
日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う	R5	78.0	78.1		65.3	63.2	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	

⑤ ICTを活用した学習状況

項 目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用したか(週1回以上)	R5	86.6	↑ 86.3		↑ 93.0	↑ 87.5	△
	R4	85.7	83.2	△	88.1	80.6	△
	※	※	※		※	※	
学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う	R5	95.8	95.1		94.0	93.3	
	R4	94.8	94.4		93.7	92.6	
	R3	95.7	94.5		94.5	93.2	
学校の授業以外に、普段(月から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っているか(1時間以上)	R5	16.3	17.9		12.8	13.4	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	

⑥ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

項 目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	R5	65.3	63.7		59.6	62.1	▼
	R4	67.1	65.4		61.1	63.3	▼
	R3	65.7	63.5	△	61.1	62.0	
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	R5	↑ 81.9	78.8	△	82.3	79.2	△
	R4	79.8	77.3	△	82.3	79.2	△
	R3	81.7	78.2	△	83.2	81.0	△
授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	R5	↑ 77.8	↑ 74.4	△	76.1	69.1	△
	R4	74.7	72.2	△	76.5	67.4	△
	※	※	※		※	※	

項 目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた	R5	↑ 85.9	↑ 82.9	△	79.2	74.9	△
	R4	82.2	79.7	△	↑ 81.4	75.3	△
	R3	84.8	81.4	△	78.5	74.3	△
学級の友達[生徒]との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている	R5	82.4	81.8		83.1	79.7	△
	R4	80.9	80.1		82.8	78.7	△
	R3	80.7	78.8		81.3	77.8	△
分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている	R5	78.7	77.4		71.4	69.2	△
	R4	79.9	78.2		76.7	74.7	△
	R3	79.2	78.3		76.4	74.6	
授業で学んだことを生かしている	R5	81.9	81.9		70.7	69.9	
	R1	82.9	82.8		73.5	74.9	
	※	※	※		※	※	

⑦ 総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科 道徳

項 目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる	R5	↑ 79.5	↑ 74.8	△	83.5	72.6	△
	R4	77.4	72.7	△	84.0	72.1	△
	R3	80.1	73.0	△	83.6	70.2	△
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会[学級活動]で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている	R5	↑ 82.7	↑ 77.2	△	82.5	77.9	△
	R4	78.3	73.5	△	↑ 82.4	↑ 76.8	△
	R3	79.8	73.4	△	78.7	73.9	△
学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる	R5	79.2	75.7	△	76.8	71.6	△
	R4	78.6	73.8	△	↑ 78.2	71.7	△
	R3	78.9	73.5	△	74.0	69.8	△
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる	R5	↑ 86.0	↑ 83.6	△	88.0	86.3	
	R4	81.4	80.0		88.7	85.5	△
	R3	83.8	81.1	△	88.8	86.2	△

⑧ 学習に対する興味・関心や授業の理解度等(国語)

項 目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
国語の勉強は好きだ	R5	61.3	↑ 61.5		65.2	61.4	△
	R4	59.8	59.2		↑ 66.8	61.9	△
	R3	62.8	58.4	△	63.1	60.8	△
国語の勉強は大切だ	R5	95.5	94.2		92.7	92.4	
	R4	94.3	93.3		93.9	93.2	
	R3	94.5	93.2		92.2	91.6	
国語の授業の内容はよく分かる	R5	87.7	85.7	△	83.3	80.0	△
	R4	86.5	84.0	△	85.5	81.2	△
	R3	88.0	84.2	△	83.7	80.1	△

項目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	R5	94.3	92.8		89.8	88.7	
	R4	92.9	91.8		91.2	89.7	
	R3	92.8	91.8		89.8	88.7	
国語の授業で、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめている	R5	78.3	76.8		※	※	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている	R5	72.2	71.3		※	※	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目している	R5	82.7	82.3		※	※	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
行書の基礎的な書き方(「点画の連続」や「点画の省略」、「筆順の変化」など)を理解している	R5	※	※		72.4	67.2	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
国語の授業で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫している	R5	※	※		69.4	65.9	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いている	R5	※	※		72.1	63.9	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	

⑨ 学習に対する興味・関心や授業の理解度等(算数・数学)

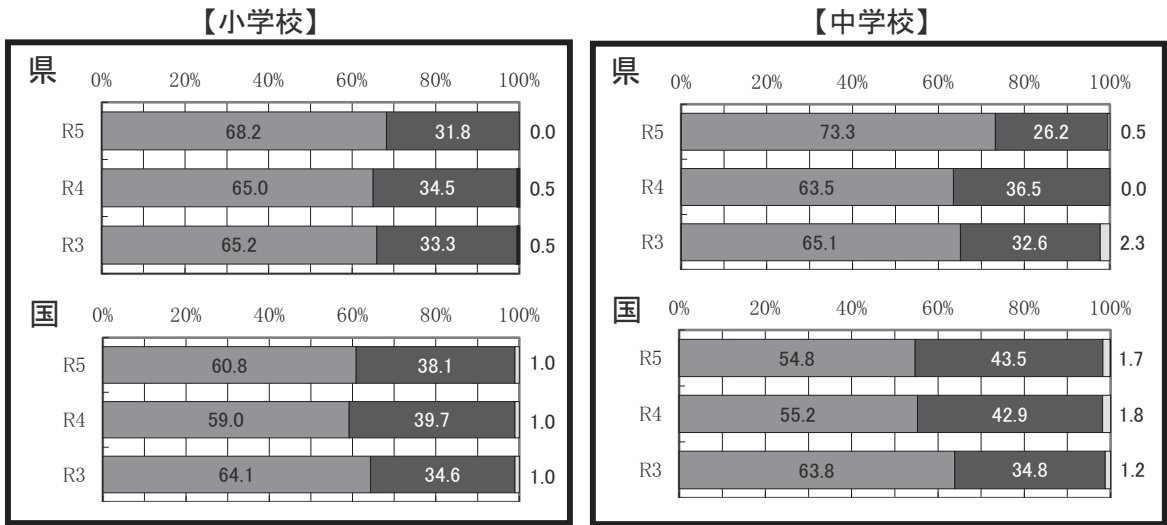
項目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
算数・数学の勉強は好きだ	R5	66.1	61.4	△	62.1	56.7	△
	R4	68.5	62.5	△	63.4	58.1	△
	R3	74.5	67.8	△	64.8	59.1	△
算数・数学の勉強は大切だ	R5	95.9	94.2		87.8	85.0	△
	R4	95.7	94.2		89.6	↑ 86.6	△
	R3	95.7	93.8		88.0	84.1	△
算数・数学の授業の内容はよく分かる	R5	85.4	81.2	△	78.1	73.3	△
	R4	86.6	81.2	△	↑ 81.1	76.2	△
	R3	89.7	84.6	△	78.7	74.6	△
算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	R5	95.3	93.3	△	79.4	75.8	△
	R4	94.8	93.3		80.3	76.5	△
	R3	94.3	92.6		79.4	74.6	△

⑩ 学習に対する興味・関心や授業の理解度等(英語)

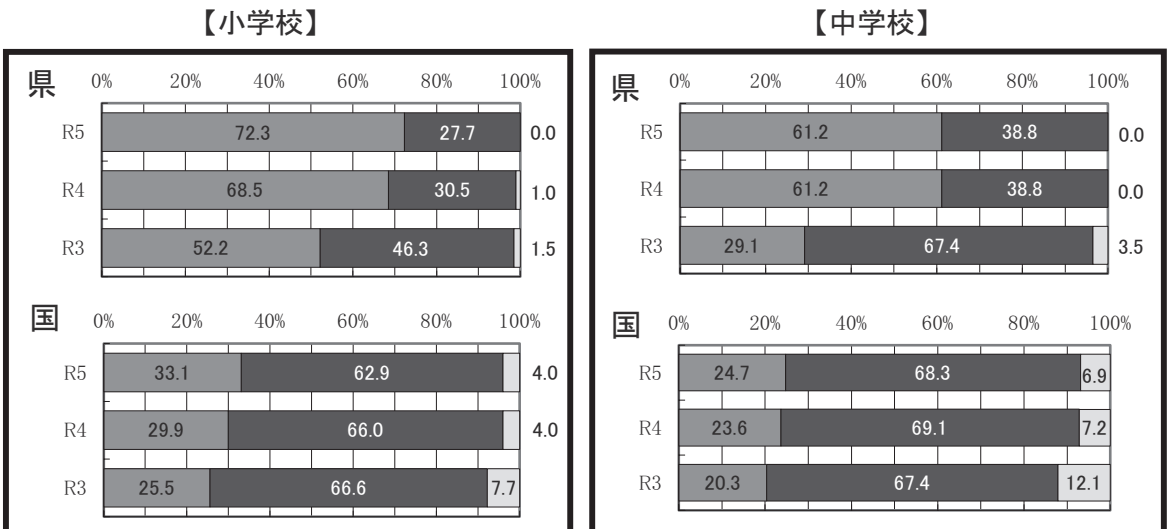
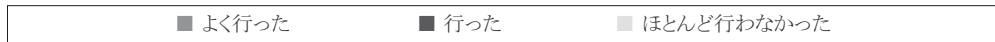
項目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
英語の勉強は好きだ	R5	70.3	69.3		53.3	51.9	
	R3	70.6	68.3	△	↑ 61.3	56.7	△
	R1	※	※		57.3	56.0	
英語の勉強は大切だ	R5	91.8	91.3		88.7	88.0	
	R1	※	※		86.9	85.4	
	※	※	※		※	※	
将来、積極的に英語を使うような生活をしたたり職業に就いたりしたいと思う	R5	51.7	52.5		36.3	36.7	
	R1	※	※		42.8	41.3	
	※	※	※		※	※	
授業[やそのための学習]以外で、[日常的に]英語を使う機会が[十分に]ある	R5	44.5	↑ 46.5	▼	29.7	30.0	
	R3	42.8	44.4		↑ 36.5	34.8	
	R1	※	※		34.5	33.8	
家庭学習の課題(宿題)として、PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を開いたり英語を話す練習をしている	R5	26.3	29.5	▼	8.4	9.1	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
英語の授業の内容はよく分かる	R5	※	※		64.6	63.9	
	R1	※	※		68.8	66.0	△
英語の授業で学習したことは将来役に立つ	R5	※	※		88.4	↑ 87.5	
	R1	※	※		87.7	85.4	△
英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていた	R5	※	※		80.6	78.2	△
	R1	※	※		83.0	79.2	△
英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていた	R5	※	※		82.0	80.3	
	R1	※	※		84.5	81.2	△
原稿などの準備をすることなく、(即興)で自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていた	R5	※	※		70.5	63.8	△
	R1	※	※		71.8	62.9	△
スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていた	R5	※	※		81.8	78.7	△
	R1	※	※		82.1	77.2	△
自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていた	R5	※	※		86.7	↑ 82.8	△
	R1	※	※		87.9	80.1	△
聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語を問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていた	R5	※	※		84.2	↑ 80.7	△
	R1	※	※		84.1	77.4	△
聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていた	R5	※	※		84.2	↑ 79.3	△
	R1	※	※		84.0	74.6	△

(2) 学校質問紙調査

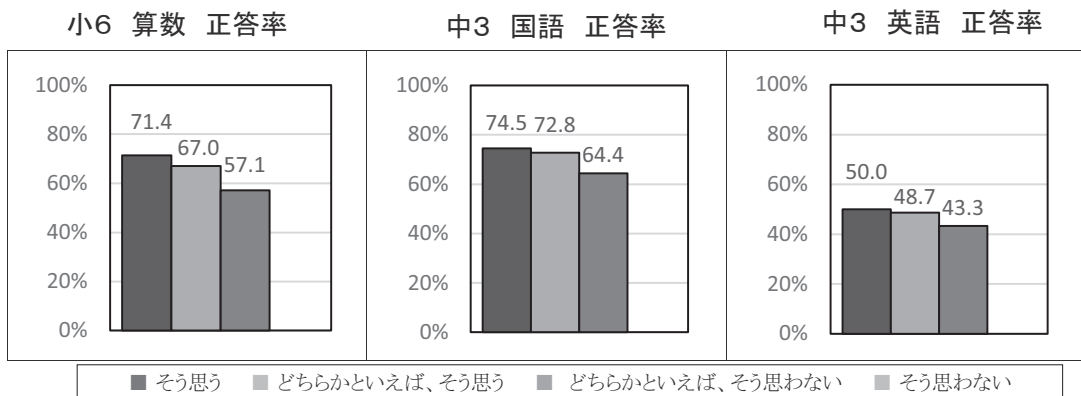
◇ 前年度までに、学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか。



◇ 自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか。



◇ 児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか。



※学校質問紙調査において、各教科区分とのクロス集計したグラフから、小は算数、中は国語と英語のグラフを抜粋

<表記について>

△:全国より2ポイント以上高い ↑:前年度(前回)より2ポイント以上高い

▼:全国より2ポイント以上低い ※:未実施

① 生徒指導等

項目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
熱意をもって勉強をしている	R5	91.1	91.1		90.6	88.7	
	R1	89.2	91.1		89.4	89.3	
	H29	94.8	94.2		97.7	91.7	△
授業中の私語が少なく、落ち着いていると思う	R5	89.1	87.6		95.3	95.1	
	R4	87.7	87.2		94.1	95.6	
	R3	89.6	88.5		95.3	96.0	
礼儀正しいと思う	R5	↑ 91.1	89.2		97.6	94.3	△
	R1	85.2	87.8	▼	※	※	
	H29	92.9	89.5		※	※	
前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をした	R5	89.6	86.5	△	100.0	98.6	
	R4	↑ 87.7	84.6	△	↑ 100.0	98.5	
	R3	85.1	85.3		97.7	97.9	
学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えた	R5	97.5	97.0		↑ 95.3	96.1	
	R4	↑ 97.1	96.2		91.7	94.3	▼
	R3	94.5	94.6		95.4	92.7	△
学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行った	R5	99.5	98.9		100.0	98.3	
	R4	99.5	98.7		↑ 100.0	98.1	
	R3	98.5	98.7		97.7	98.6	

② 学校運営に関する状況／教職員の資質向上に関する状況

項目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行った	R5	83.1	↑ 76.5	△	↑ 72.9	↑ 61.4	△
	R4	↑ 82.3	73.2	△	↑ 69.4	55.7	△
	R3	78.6	73.9	△	59.3	55.5	△
教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行った	R5	90.1	↑ 86.7	△	↑ 83.5	↑ 75.3	△
	R4	↑ 90.2	83.7	△	↑ 72.9	69.1	△
	R3	85.1	84.5		70.9	68.3	△
教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成している	R5	↑ 99.0	↑ 96.3	△	↑ 97.7	↑ 94.1	△
	R1	95.6	93.7		87.0	88.1	
	H30	95.7	93.2	△	89.9	88.7	
児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している	R5	97.5	↑ 96.2		↑ 97.6	95.2	△
	R4	96.0	94.2		95.3	93.3	△
	R3	94.5	93.6		95.4	92.7	△

項目	小学校			中学校			
	本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較	
指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている	R5	↑ 97.5	↑ 95.5	△	↑ 95.3	↑ 88.5	△
	R4	93.6	92.3		↑ 89.4	82.3	△
	R3	98.0	94.2	△	81.4	84.6	▼
言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいる	R5	97.5	95.6		96.4	93.4	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っている	R5	100.0	98.5		↑ 100.0	↑ 94.7	△
	R4	99.5	97.7		↑ 97.7	92.7	△
	R3	99.0	98.1		93.0	93.9	
児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っている	R5	↑ 89.6	↑ 88.8		↑ 88.2	↑ 83.8	△
	R4	↑ 85.2	83.6		78.8	78.6	
	R3	80.1	82.4	▼	80.2	77.7	△
個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加している(オンラインでの参加を含む)	R5	↑ 95.1	↑ 84.2	△	↑ 91.8	↑ 81.1	△
	R4	82.3	76.0	△	76.5	73.0	△
	※	※	※		※	※	

③ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

項目	小学校			中学校			
	本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較	
課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思う	R5	↑ 93.5	88.9	△	↑ 94.2	88.0	△
	R4	87.1	87.2		84.7	87.9	▼
	R3	89.1	85.3	△	83.7	86.0	▼
自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思う	R5	75.2	↑ 79.0	▼	↑ 88.2	81.6	△
	R4	↑ 74.4	↑ 75.1		↑ 74.1	↑ 80.7	▼
	R3	71.7	68.3	△	72.1	75.6	▼
学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思う	R5	↑ 88.1	↑ 87.7		↑ 94.1	88.8	△
	R4	81.8	83.8	▼	↑ 89.4	87.3	△
	R3	85.1	82.4	△	87.2	86.6	
学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う	R5	↑ 81.7	↑ 83.4		↑ 90.6	86.2	△
	R4	↑ 77.4	↑ 80.9	▼	75.3	↑ 86.2	▼
	R3	74.1	75.8		77.9	83.6	▼
学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思う	R5	92.1	91.4		↑ 98.8	96.0	△
	R4	91.7	90.7		94.2	96.0	
	R3	90.5	89.9		94.2	95.2	
学習指導において、児童生徒一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫した	R5	92.0	93.1		90.6	90.9	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
児童生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫した	R5	95.1	94.3		94.1	94.2	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた	R5	92.6	90.4	△	83.6	87.0	▼
	R4	92.6	↑ 89.8	△	88.3	↑ 87.0	
	R3	94.0	87.7	△	94.2	84.5	△

項目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした	R5	91.6	89.0	△	84.7	87.7	▼
	R4	↑ 91.6	88.0	△	87.1	88.2	
	R3	89.6	88.1		86.1	86.9	
各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた	R5	89.1	↑ 85.6	△	75.3	78.6	▼
	R4	↑ 89.1	↑ 83.4	△	↑ 83.5	↑ 76.6	△
	R3	83.6	81.4	△	69.8	72.6	▼
調査対象学年の児童[生徒]に対する指導に関して、前年度に、本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行っている(週1回以上程度またはそれ以上)	R5	↑ 41.6	↑ 42.9		↑ 21.2	↑ 26.1	▼
	R3	↑ 13.4	↑ 20.7	▼	↑ 9.3	↑ 9.3	
	H29	5.2	10.5	▼	1.1	1.4	

④ 総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科 道徳の指導方法

項目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしている	R5	91.6	92.7		94.1	↑ 92.1	△
	R4	94.6	90.8	△	↑ 92.9	89.6	△
	R3	95.5	90.7	△	90.7	88.1	△
学級生活をよりよくするために、学級会[学級活動]で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っている	R5	95.0	94.3		88.2	93.9	▼
	R4	94.6	93.8		↑ 91.8	93.3	
	R3	97.0	94.5	△	86.0	93.9	▼
学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童生徒が意思決定できるような指導を行っている	R5	95.5	93.1	△	90.6	92.0	
	R4	94.1	92.6		91.8	91.7	
	R3	97.0	93.3	△	90.7	92.1	
特別の教科 道徳において、児童生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしている	R5	98.6	96.5	△	94.1	96.9	▼
	R4	99.5	96.9	△	94.1	97.7	▼
	R3	98.5	97.0		96.6	97.9	

⑤ 学習評価

項目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
学習評価の方針を示した上で、児童生徒の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童生徒の学習改善に生かすことを心がけた	R5	87.1	90.3	▼	98.8	96.2	△
	※	※	※		※	※	

⑥ 国語科の指導方法

項目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、異なる意見を自分の考えに生かして考えをまとめることができるような指導を行った	R5	97.6	93.2	△	※	※	
	※	※	※		※	※	
互いの書いた文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるような指導を行った	R5	93.1	92.4		※	※	
	※	※	※		※	※	
自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫することができるように指導を行った	R5	※	※		95.3	94.0	
	※	※	※		※	※	
自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書くことができるような指導を行った	R5	※	※		97.6	94.0	△
	※	※	※		※	※	

⑦ 算数・数学科の指導方法

項目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
実生活における事象との関連を図った授業を行った	R5	93.1	↑ 92.1		↑ 93.0	↑ 88.0	△
	R4	↑ 93.6	↑ 84.3	△	↑ 82.4	↑ 82.8	
	R3	86.6	82.2	△	76.8	78.1	
具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を持った理解をする[観察や操作、実験等の活動を通して、数量や図形等の性質を見いだす]活動を行った	R5	93.6	↑ 94.6		↑ 89.4	↑ 84.3	△
	R4	94.5	92.4	△	↑ 81.2	↑ 78.7	△
	R3	95.0	91.9	△	79.0	76.2	△
公式やきまり、計算の仕方等を指導するとき、児童生徒がそのわけ[根拠]を理解できるように工夫していた	R5	98.5	97.9		↑ 97.6	97.6	
	R4	98.0	97.1		95.3	97.0	
	R3	99.0	97.1		94.2	96.5	▼

⑧ 英語の指導方法

項目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
学校として外国語教育の充実に取り組む上で、必要な情報や研修、自己研鑽の機会を十分に設けている	R5	↑ 73.3	↑ 71.8		※	※	
	R3	65.6	67.6	▼	※	※	
英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点を捉える言語活動を行っている	R5	※	※		↑ 98.8	↑ 94.2	△
	R1	※	※		89.4	87.2	△
英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点を捉える言語活動を行っている	R5	※	※		↑ 100.0	↑ 96.1	△
	R1	※	※		94.1	90.9	△
原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行っている	R5	※	※		↑ 87.1	↑ 76.8	△
	R1	※	※		64.7	65.1	
英語でスピーチやプレゼンテーションなど、まとめた内容を英語で発表する言語活動を行っている	R5	※	※		↑ 91.7	↑ 86.9	△
	R1	※	※		81.2	80.8	
自分の考えや気持ちを英語で書く言語活動を行っている	R5	※	※		↑ 98.9	↑ 91.9	△
	R1	※	※		91.8	87.6	△
聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動を行っている	R5	※	※		78.8	74.2	△
	R1	※	※		64.7	62.4	△
聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする言語活動を行っている	R5	※	※		↑ 90.6	75.4	△
	R1	※	※		72.9	63.5	△
英語担当教師とALT(外国語指導助手)との間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行うことができていると思う	R5	※	※		91.7	94.1	▼
	R1	※	※		92.9	93.4	

項目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
調査結果を踏まえて、言語活動の充実等の授業改善や、定期考査やパフォーマンステストの改善等の学習評価の改善に取り組んでいる	R5	※	※		95.3	88.1	△
	※	※	※		※	※	
授業以外に、児童生徒が英語に触れる機会(イングリッシュキャンプ、English Day、昼休みの英語での放送等)をどの程度設けているか(週1回以上)	R5	45.6	24.8	△	17.6	17.0	
	※	※	※		※	※	
家庭学習の課題(宿題)として、児童生徒にPC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の学習をどの程度行わせているか(週1回以上)	R5	12.4	16.2	▼	24.8	35.5	▼
	※	※	※		※	※	

⑨ ICTを活用した学習状況

項目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行ったか(週1回以上)	R5	98.5	95.8	△	98.9	95.8	△
	R4	98.0	95.8	△	97.7	95.9	
	※	※	※		※	※	
教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がある	R5	↑ 100.0	95.9	△	↑ 97.7	91.5	△
	R4	↑ 97.6	↑ 94.7	△	94.1	↑ 90.8	△
	R3	94.6	84.8	△	94.2	78.4	△
コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられている	R5	95.1	87.4	△	87.1	82.5	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用したか(週1回以上)	R5	100.0	99.0		100.0	↑ 97.7	△
	R4	99.0	97.7		98.8	95.6	△
	※	※	※		※	※	
自分で調べる場面(ウェブブラウザによるインターネット検索等)では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を週1回以上使用させた	R5	↑ 96.0	↑ 94.9		↑ 95.3	↑ 91.0	△
	R4	93.1	92.2		92.9	87.6	△
	※	※	※		※	※	
自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させているか(週1回以上使用)	R5	↑ 84.7	↑ 76.4	△	↑ 94.2	↑ 76.2	△
	R4	78.9	71.6	△	88.2	73.8	△
	※	※	※		※	※	
教職員と児童[生徒]がやりとりする場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させているか(週1回以上)	R5	↑ 83.7	↑ 78.4	△	80.0	↑ 75.7	△
	R4	75.8	72.1	△	84.8	70.8	△
	※	※	※		※	※	
児童生徒同士がやりとりする場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させているか(週1回以上)	R5	↑ 75.3	↑ 68.5	△	↑ 77.6	↑ 62.2	△
	R4	61.1	59.1	△	68.2	55.4	△
	※	※	※		※	※	
児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させているか(週1回以上)	R5	74.2	77.9	▼	65.9	67.5	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	

項目	小学校			中学校			
	本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較	
児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を使って、児童生徒が学校外の施設(他の学校や社会教育施設、民間企業等)にいる人々とやりとりする取組をどの程度実施したか(月1回以上)	R5	↑ 5.0	5.0	3.5	↑ 5.8	▼	
	R4	2.5	3.8	3.6	3.6		
	※	※	※	※	※		
教職員と家庭との間で連絡を取り合う場面で、コンピュータなどのICT機器を活用している	R5	↑ 67.3	↑ 62.8	△	↑ 58.9	↑ 61.6	▼
	R4	↑ 47.8	↑ 50.3	▼	↑ 51.8	↑ 49.4	△
	R3	34.3	39.6	▼	45.4	43.9	
児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を持ち帰って利用させている	R5	↑ 96.5	↑ 81.3	△	↑ 74.2	↑ 76.9	▼
	R4	85.7	66.9	△	61.1	61.8	
	※	※	※	※	※	※	

⑩ 特別支援教育

項目	小学校			中学校			
	本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較	
児童生徒の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫等)を行った	R5	93.6	94.9		88.2	94.1	▼
	R4	↑ 93.1	94.3		↑ 91.8	92.8	
	R3	91.0	94.4	▼	84.8	93.3	▼

⑪ 小学校教育と中学校教育の連携

項目	小学校			中学校			
	本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較	
近隣等の小学校[中学校]と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行った	R5	↑ 63.3	↑ 60.6	△	↑ 76.5	↑ 66.8	△
	R4	55.2	52.7	△	68.3	61.1	△
	R3	59.7	59.1		72.1	65.0	△
近隣等の小学校[中学校]と、授業研究を行うなど、合同で研修を行った	R5	↑ 57.9	↑ 58.2		↑ 65.9	↑ 67.3	
	R4	48.7	48.2		57.6	58.0	
	R3	64.2	57.4	△	69.7	65.1	△
令和4年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小学校[中学校]と成果や課題を共有した	R5	↑ 56.9	↑ 53.6	△	↑ 63.5	↑ 54.7	△
	R4	47.7	44.5	△	↑ 58.9	47.6	△
	R3	49.8	48.1		53.5	48.5	△

⑫ 家庭や地域との連携等

項目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている	R5	↑ 79.2	↑ 86.1	▼	↑ 78.8	↑ 83.2	▼
	R4	73.4	82.0	▼	72.9	79.7	▼
	R3	75.6	85.7	▼	76.8	87.2	▼
保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加している	R5	↑ 98.0	95.9	△	↑ 83.5	↑ 82.1	
	R4	94.6	94.6		81.2	77.5	△
	R3	98.0	95.7	△	86.0	85.3	
上記の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による取組は、教員の業務負担軽減に効果があった	R5	75.2	78.8	▼	56.5	60.7	▼
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まった	R5	77.2	86.1	▼	63.5	79.3	▼
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	

⑬ 家庭学習

項目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
家庭学習の課題の出し方について、校内の教職員で共通理解を図っている	R5	↑ 99.0	90.8	△	96.5	84.6	△
	R3	97.0	90.6	△	↑ 97.7	85.5	△
	R1	99.5	92.2	△	94.2	87.0	△
家庭学習の取組として、学校では、家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えた	R5	99.0	95.7	△	97.6	90.9	△
	R4	98.0	96.5		97.7	93.6	△
	R3	100.0	95.5	△	100.0	91.9	△
家庭学習の取組として、学校では、児童生徒が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童生徒の学習改善に生かした	R5	↑ 91.6	90.6		↑ 89.4	84.4	△
	R4	89.2	89.7		83.5	86.9	▼
	R3	90.0	89.4		83.7	85.4	

⑭ 全国学力・学習状況調査の結果の活用

項目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用した	R5	100.0	96.0	△	100.0	93.0	△
	R4	99.0	↑ 95.9	△	↑ 100.0	↑ 92.7	△
	R3	98.5	92.1	△	96.5	87.7	△
全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行った	R5	99.0	92.2	△	98.8	88.1	△
	R4	99.5	↑ 91.7	△	↑ 100.0	↑ 88.5	△
	R3	99.0	88.7	△	95.3	85.8	△
令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行った(学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む)	R5	96.0	88.0	△	↑ 96.5	81.1	△
	R4	94.6	86.2	△	94.2	80.6	△
	※	※	※		※	※	

令和5年度

全国学力・学習状況調査 ー結果の概要ー

令和5年9月発行

石川県教育委員会事務局学校指導課

〒920-8575 石川県金沢市鞍月1丁目1番地

TEL 076-225-1827

e-mail : gakusi@pref.ishikawa.lg.jp